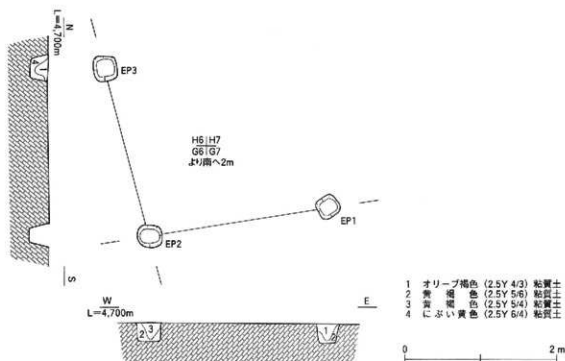


第224図 SA3032 平断面図(2)



第225図 SA3033 平断面図

遺物出土状況 EP 8の2層上面からと底部付近より遺物が出土している。

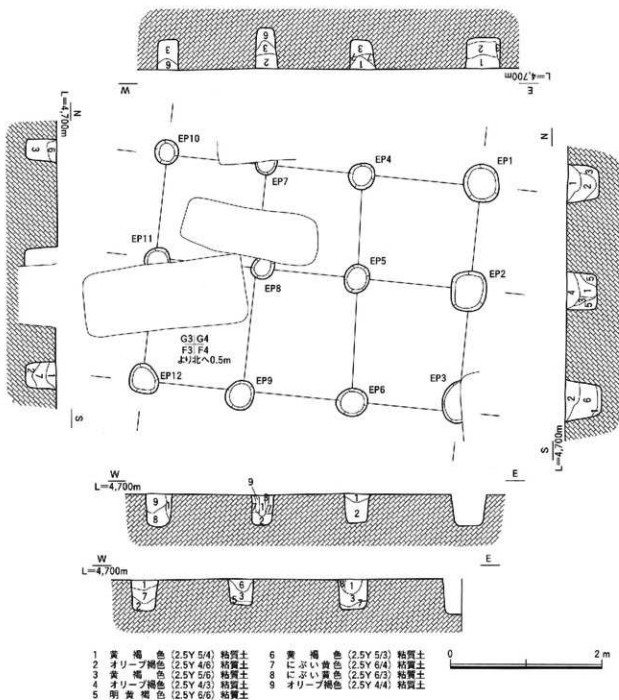
出土遺物 1は土師器の蓋である。2は土師器の杯である。3は土師器の皿である。4は土師器の甕である。体部外面に刻書がみられる。

時期 柱内の出土遺物から平安時代と考えられる。

30号掘立柱建物跡 (SA3030) (第210・211図)

検出場所 2003年度調査3-1区 Loc.G1・βⅡ・S19・20・T19・20・βⅢS1・T1グリッド

形態・規模 梁間2間(4.0m)×桁行3間(7.0m)、床面積約28.0㎡の掘立柱建物である。建物の主軸方向はN-74°-Eである。



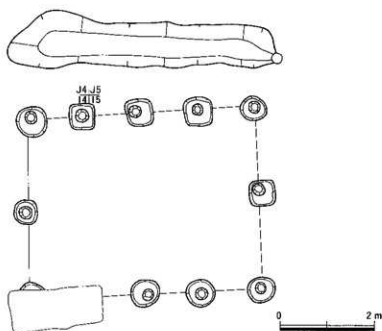
第226図 SA3034 平面図

土層 2～4層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 1は須恵器の杯蓋である。2は土師器の甕である。

時期 柱内の出土遺物から古墳時代以降と考えられる。



第227図 SA3035-SK3061 平面図

31号掘立柱建物跡 (SA3031) (第212～222図)

検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・βⅢ・T7・8・γⅢA7・8グリッド

形態・規模 梁間1間(1.8m)×桁行3間(5.8m)、床面積約10.4㎡の側柱建物である。建物の主軸方向はN-85°-Eである。

土層 2～3層に分層され、EP1からは根石とみられる石が検出されている。

遺物出土状況 EP1・3・4・6・8からそれぞれ遺物が出土している。遺物は遺構検出面および上層に集中する傾向があるが、EP6では底部に張り付くように検出されている。

出土遺物 第214図1はEP1出土の土師器の杯である。第216図1はEP3出土の土師器の杯である。第218図1はEP4出土の土師器の杯である。2は鉄釘である。第220図1はEP6出土の土師器の皿である。第222図1はEP8出土の土師器の小皿である。2は凝灰岩の砥石である。

時期 柱内の出土遺物から平安時代と考えられる。

32号掘立柱建物跡 (SA3032) (第223・224図)

検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・γⅢ・C9・10グリッド

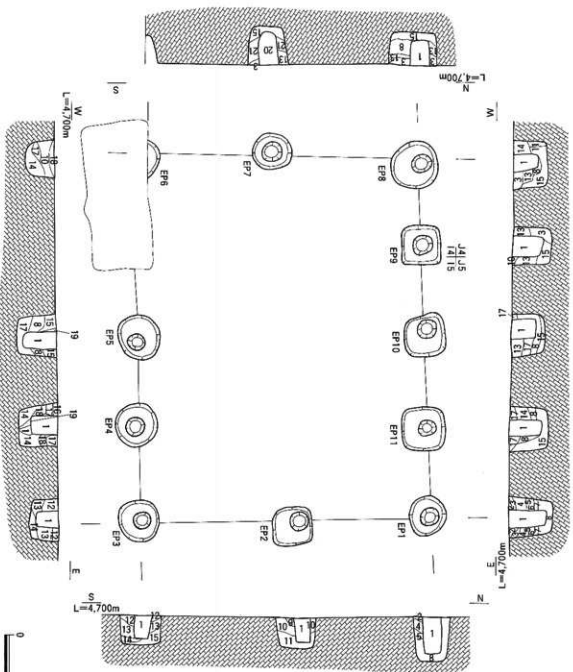
形態・規模 梁間2間(3.4m)×桁行3間(3.4m)、床面積約11.6㎡の総柱建物で、東西方向2面に庇がつくと考えられる。建物の主軸方向はN-4°-Wである。

土層 2～7層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

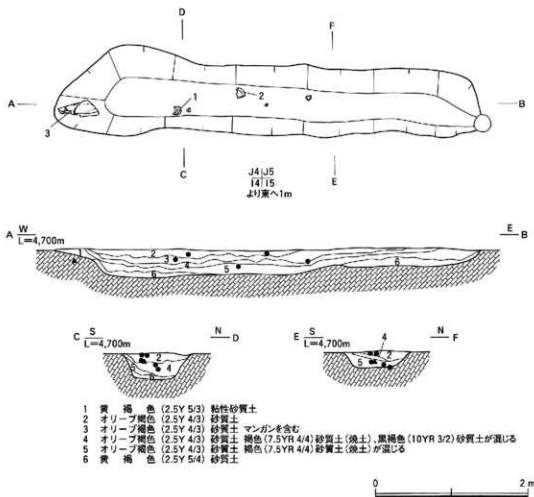
出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。



第228図 SA3035 平断面図

- 1 1号ノリコシ (2.5V 4/3) 砂質粘土
- 2 2号ノリコシ (2.5V 3/3) 粘質粘土
- 3 3号ノリコシ (2.5V 4/3) 砂質粘土
- 4 4号ノリコシ (2.5V 4/3) 粘質粘土
- 5 5号ノリコシ (2.5V 4/3) 砂質粘土
- 6 6号ノリコシ (2.5V 5/3) 砂質粘土
- 7 7号ノリコシ (2.5V 3/3) 粘質粘土
- 8 8号ノリコシ (2.5V 4/3) 粘質粘土
- 9 9号ノリコシ (2.5V 5/4) 粘質粘土
- 10 10号ノリコシ (2.5V 5/3) 粘質粘土
- 11 11号ノリコシ (2.5V 4/6) 粘質粘土
- 12 12号ノリコシ (2.5V 4/6) 粘質粘土
- 13 13号ノリコシ (2.5V 5/6) 粘質粘土
- 14 14号ノリコシ (2.5V 4/2) 粘質粘土
- 15 15号ノリコシ (2.5V 5/4) 粘質粘土
- 16 16号ノリコシ (2.5V 5/4) 粘質粘土
- 17 17号ノリコシ (2.5V 6/2) 粘質粘土
- 18 18号ノリコシ (2.5V 4/3) 粘質粘土
- 19 19号ノリコシ (2.5V 4/3) 粘質粘土
- 20 20号ノリコシ (2.5V 4/3) 粘質粘土



第229図 SK3061 平面図

33号掘立柱建物跡 (SA3033) (第225図)

検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・γⅢ・G6・7グリッド

形態・規模 梁間1間 (2.4m) × 桁行1間 (2.4m) の側柱建物である。建物の主軸方向はN-15°-Wで北東隅は調査区外に延びている。

土層 2層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

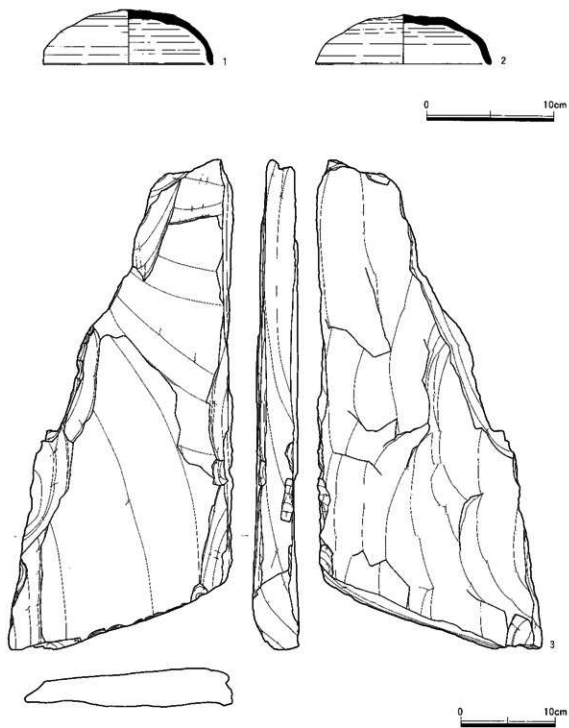
出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

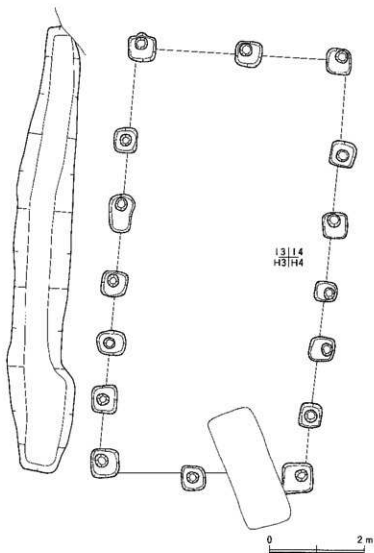
34号掘立柱建物跡 (SA3034) (第226図)

検出場所 1999年度調査5区 Loc.G1・γⅢ・G3・4グリッド

形態・規模 梁間2間 (3.0m) × 桁行3間 (4.2m)、床面積約12.6㎡の総柱建物である。建物の主軸方向はN-85°-Wである。



第230図 SK3061 出土遺物



第231図 SA3036・SK3064 平面図

土層 2～4層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

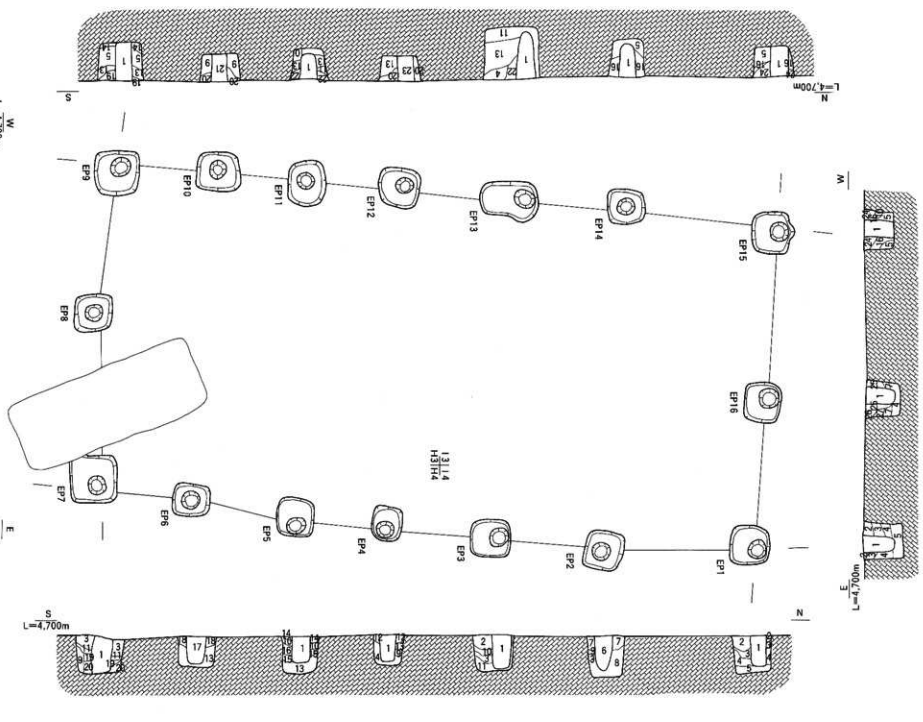
35号掘立柱建物跡 (SA3035) (第227・228図)

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅢ・14・5グリッド

形態・規模 薬間2間(3.8m)×桁行4間(4.75m)、床面積約18.1㎡の掘立柱建物である。建物の主軸方向はN-88°-Eである。

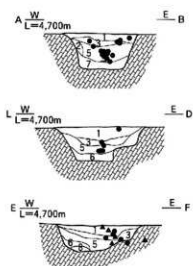
土層 4～8層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

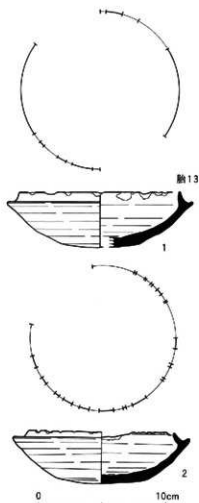


1	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁	10	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
2	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁	11	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
3	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁	12	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
4	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁	13	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
5	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁	14	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
6	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁	15	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
7	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁	16	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
8	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁	17	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
9	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁	18	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
10	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁	19	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁
11	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁	20	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁
12	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁	21	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁
13	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁	22	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁
14	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁	23	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁
15	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁	24	ホリ一ツ	壁	色	(2.5Y 4.3)	粉壁
16	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁	25	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
17	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁	26	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁
18	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁	27	白	漆	色	(2.5Y 6.4)	粉壁

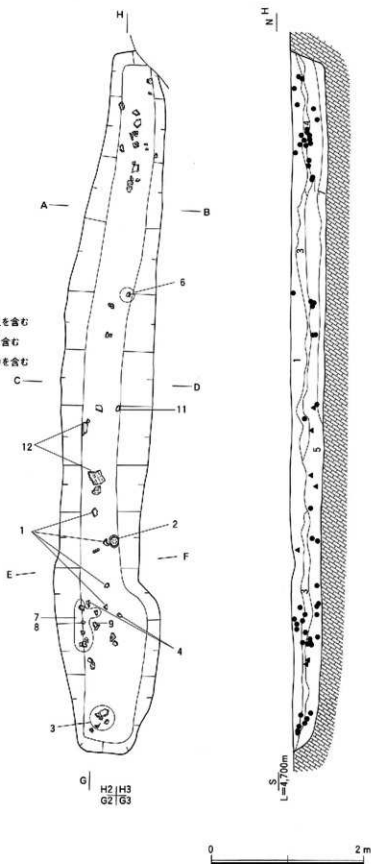
第232図 SA3036 平面断面図



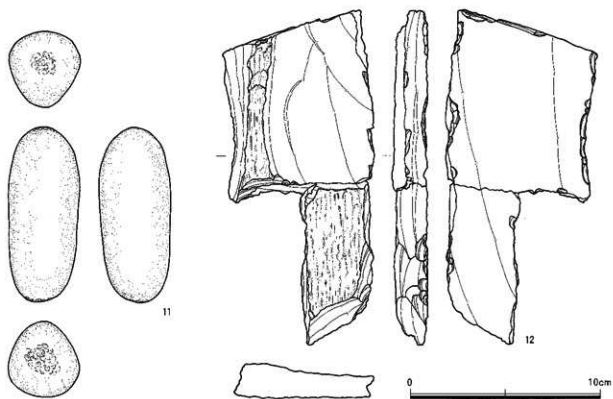
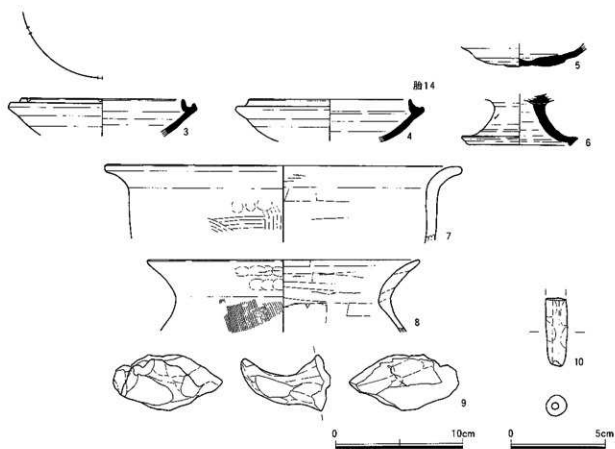
- 1 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土
- 2 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土
- 3 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土
- 4 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土 炭化物・焼土を含む
- 5 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土 炭化物を含む
- 6 黄 褐色 (2.5Y 5/3) 粘性砂質土 炭化物を含む
- 7 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘質土
- 8 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘質土 焼土・炭化物を含む



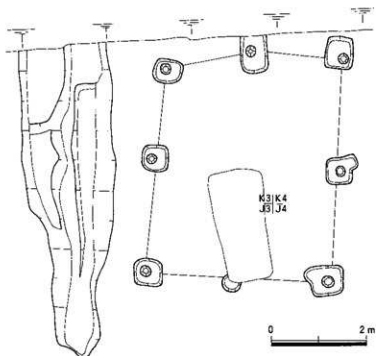
第234図 SK3064 出土遺物 (1)



第233図 SK3064 平断面図



第235图 SK3064 出土遺物 (2)



第236図 SA3037・SK3062 平面図

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 古墳時代後期と考えられる。

61号土坑 (SK3061) (第227・229・230図)

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅢ・J4・5グリッド

形態・規模 長軸5.65m、短軸0.92m、深度0.35mを測る。SA3035の北側に並行して存在するので、掘立柱建物に附属する遺構と判断した。

土層 6層に分層される。

遺物出土状況 2～5層にかけて散漫に遺物が検出されている。

出土遺物 1・2は須恵器の杯蓋である。3は砂質片岩の大型剥片である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217併行期）と考えられる。

36号掘立柱建物跡 (SA3036) (第231・232図)

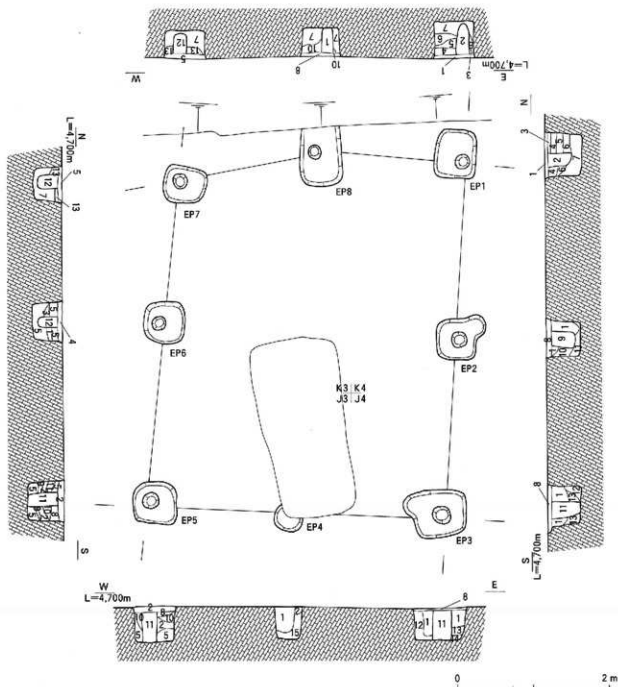
検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅢ・H3・4・I3・4グリッド

形態・規模 梁間2間(4.25m)×桁行6間(8.75m)、床面積約37.2m²の掘立柱建物である。建物の主軸方向はN-88°-Eである。

土層 4～6層に分層され、根石などは検出されていない。

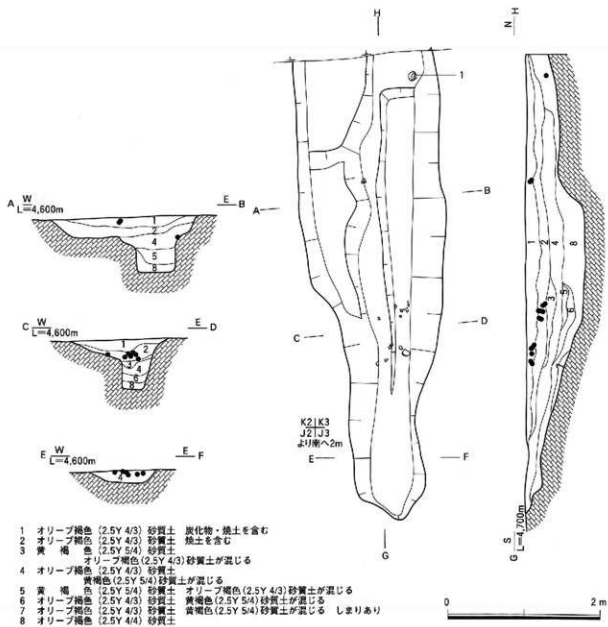
遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。



- | | | | |
|---|--|----|---|
| 1 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土 | 9 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘性砂質土 しまりあり |
| 2 | 黄 褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土 | 10 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土 黄褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土が混じる |
| 3 | 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土 マンガンを含む | 11 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘性砂質土 |
| 4 | 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土 オリブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土が混じる | 12 | 黄 褐色 (2.5Y 4/4) 砂質土 |
| 5 | 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土 | 13 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘質土 |
| 6 | 暗 灰 黄色 (2.5Y 4/2) 粘性砂質土 | 14 | 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 粘性土 |
| 7 | オリブ褐色 (2.5Y 4/4) 粘性砂質土 | 15 | 黄 褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土 マンガンを含む |
| 8 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土 マンガンを含む | | |

第237図 SA3037 平面図

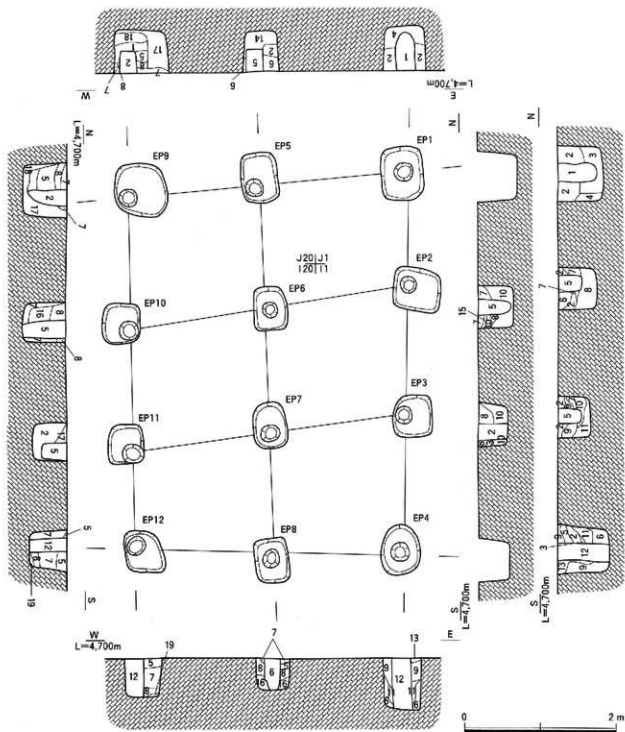


第238図 SK3062 平断面図



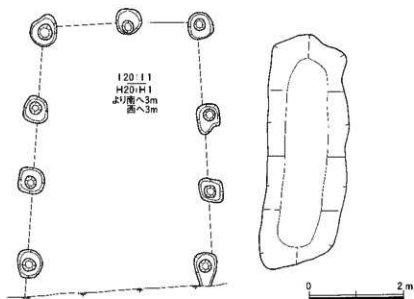
0 10cm

第239図 SK3062 出土遺物



- | | | | | |
|---|----------------------|----|----------------------|-------------------------|
| 1 | オリブ褐色(2.5Y 4/3)粘性砂質土 | 10 | 黄褐色(2.5Y 5/4)粘性砂質土 | |
| 2 | 黄褐色(2.5Y 5/3)砂質土 | 11 | 黄褐色(2.5Y 5/4)粘質土 | |
| 3 | オリブ褐色(2.5Y 4/3)粘質土 | 12 | オリブ褐色(2.5Y 4/3)砂質土 | 黄褐色(2.5Y 5/3)砂質土が混じる |
| 4 | オリブ褐色(2.5Y 4/3)粘質土 | 13 | オリブ褐色(2.5Y 4/3)砂質土 | 黄褐色(2.5Y 5/4)砂質土が混じる |
| 5 | オリブ褐色(2.5Y 4/3)砂質土 | 14 | 黄褐色(2.5Y 5/3)粘性砂質土 | |
| 6 | オリブ褐色(2.5Y 4/3)砂質土 | 15 | 黄褐色(2.5Y 4/3)粘質土 | 暗灰黄色(2.5Y 4/2)粘性砂質土が混じる |
| 7 | 黄褐色(2.5Y 5/4)砂質土 | 16 | オリブ褐色(2.5Y 4/4)粘質土 | |
| 8 | 黄褐色(2.5Y 5/4)砂質土 | 17 | 黄褐色(2.5Y 5/4)砂質土 | 粘性ややあり |
| 9 | 黄褐色(2.5Y 5/3)砂質土 | 18 | オリブ褐色(2.5Y 4/3)粘性砂質土 | 黄褐色(2.5Y 4/3)砂質土が混じる |
| | | 19 | 黄褐色(2.5Y 5/4)粘質土 | |

第240図 SA3038 平断面図



第241図 SA3039・SK3066 平面図

時期 附属すると考えられる遺構の時期から古墳時代以降と考えられる。

64号土坑 (SK3064) (第231・233～235図)

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅢ・J4・5グリッド

形態・規模 長軸9.18m、短軸1.22m、深度0.41mを測る。SA3036の西側に並行して存在するので、掘立柱建物に附属する遺構と判断した。

土層 7層に分層される。

遺物出土状況 1～6層にかけて散漫に遺物が検出されている。

出土遺物 1～5は須恵器の杯身である。6は須恵器の高杯である。7・8は土師器の甕である。9は土師器の甕の把手部である。10は土錘である。11は砂岩の破石である。12は砂質片岩の大型剥片である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217併行期）と考えられる。

37号掘立柱建物跡 (SA3037) (第236・237図)

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅢ・J3・4・K3・4グリッド

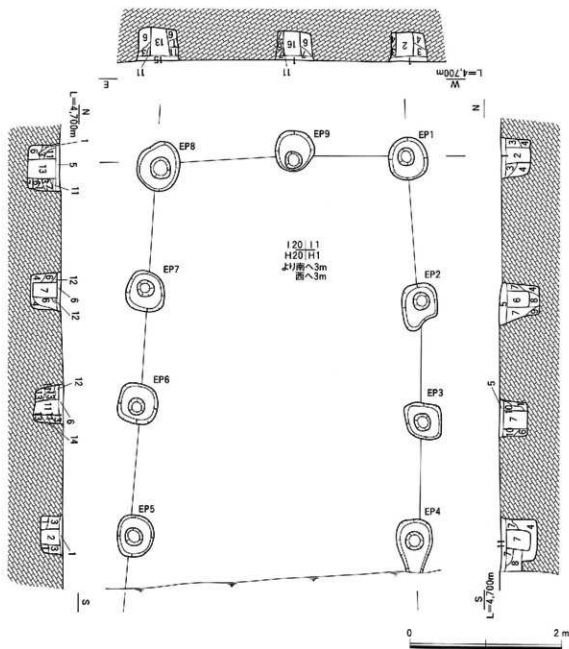
形態・規模 梁間2間(3.9m)×桁行2間(4.7m)、床面積約18.3m²の側柱建物である。建物の主軸方向はN-3°-Eである。

土層 3～9層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

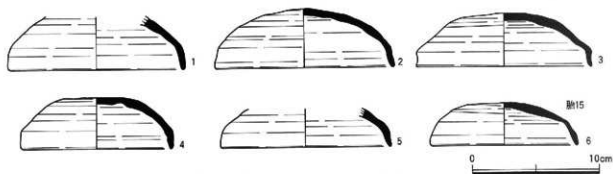
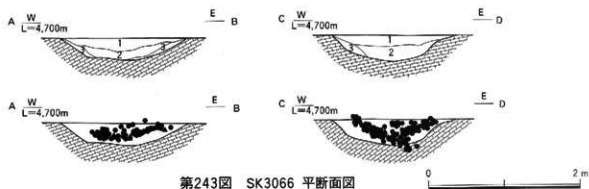
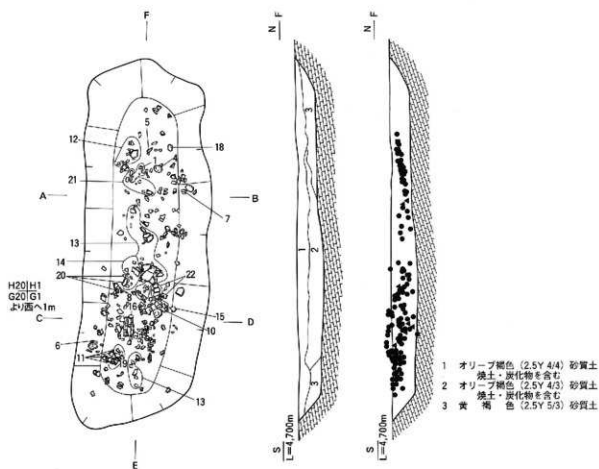
出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 附属すると考えられる遺構の時期から古墳時代後期と考えられる。

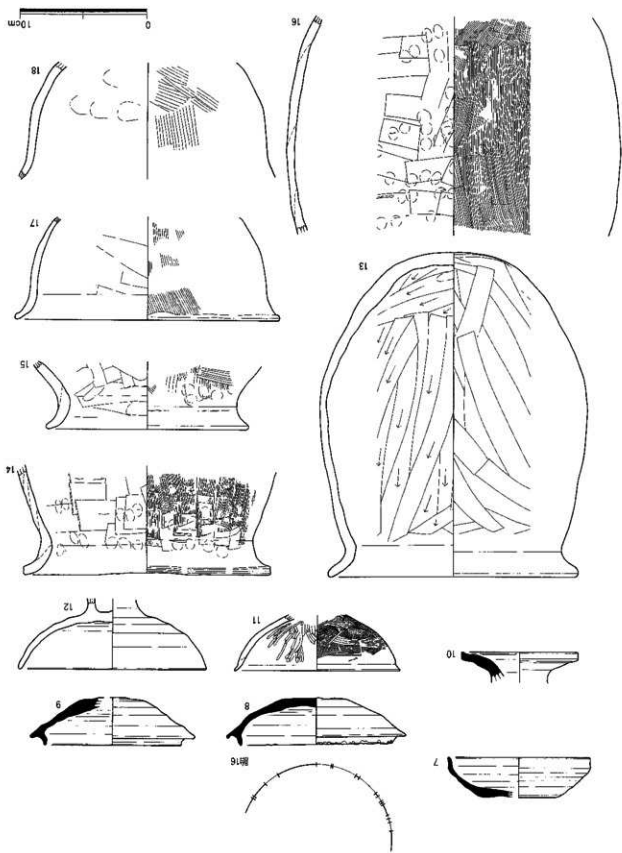


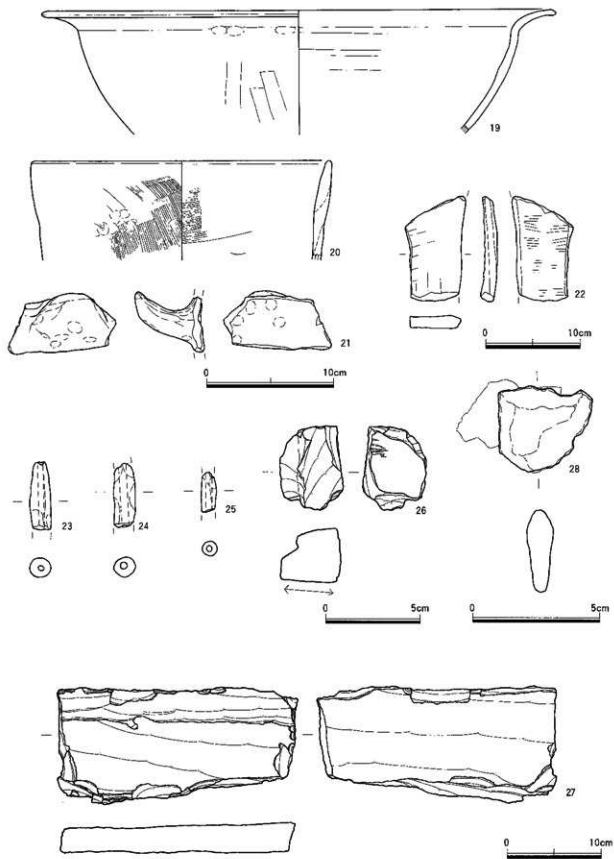
- | | | | |
|---------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 1 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土 | 9 暗 灰 黄色 (2.5Y 4/2) 粘質土 | 10 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土 | 炭化物含む |
| 2 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 粘性砂質土 | 11 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘性砂質土 | 11 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘性砂質土 | マンガンを含む |
| 3 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土 | 12 黄 褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土 | 12 黄 褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土 | マンガンを含む |
| 4 オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) 砂質土 | 13 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘性砂質土 | 13 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘性砂質土 | 黄褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土が混じる |
| 5 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土 | 14 黄 褐色 (2.5Y 5/3) 粘性砂質土 | 14 黄 褐色 (2.5Y 5/3) 粘性砂質土 | |
| 6 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土 | 15 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土 | 15 黄 褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土 | オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土が混じる |
| 7 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘性砂質土 | 16 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘性砂質土 | 16 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘性砂質土 | 炭化物含む |
| 8 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 粘質土 | | | |

第242図 SA3039 平断面図

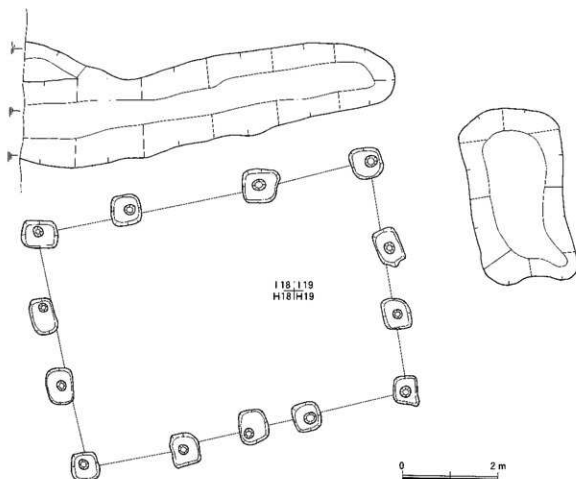


第245圖 SK3066 出土遺物 (2)





第246図 SK3066 出土遺物(3)



第247図 SA3040・SK3067・SK3068 平面図

62号土坑 (SK3062) (第238・239図)

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅢ・J2・3・K2・3グリッド

形態・規模 長軸6.10m、短軸1.88m、深度0.90mを測る。SA3037の西側に並行して存在するので、掘立柱建物に附属する遺構と判断した。

土層 8層に分層される。

遺物出土状況 1、2層を中心に遺物が出土しているが、杯蓋が1点遺構底部近くから検出されている。

出土遺物 1は須恵器の杯蓋である。

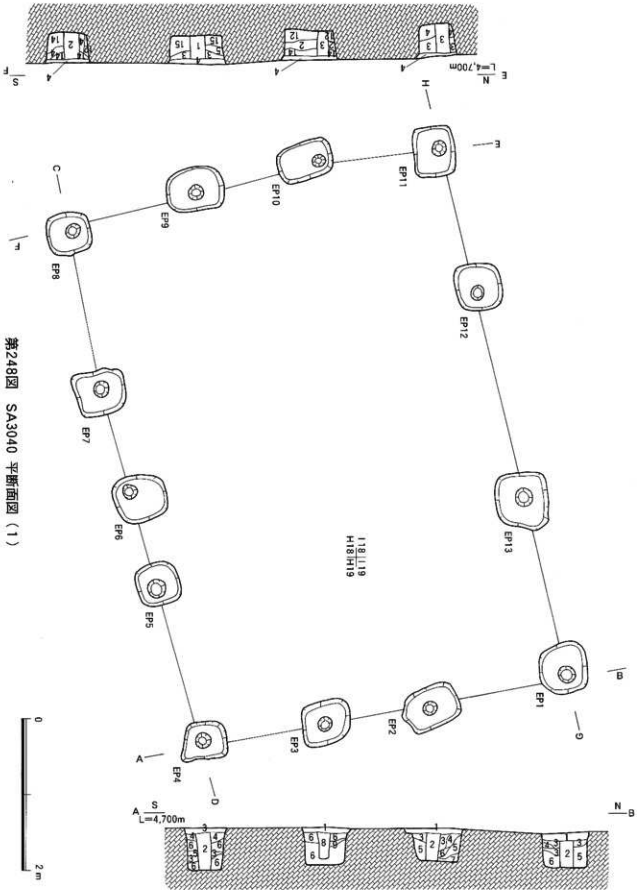
時期 出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217併行期）と考えられる。

38号掘立柱建物跡 (SA3038) (第240図)

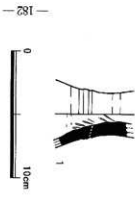
検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅡ・I20・J20・γⅢ・11・J1グリッド

形態・規模 梁間2間（3.6m）×桁行3間（5.0m）、床面積約18.0㎡の竪柱建物である。建物の主軸方向はN-3°-Wである。

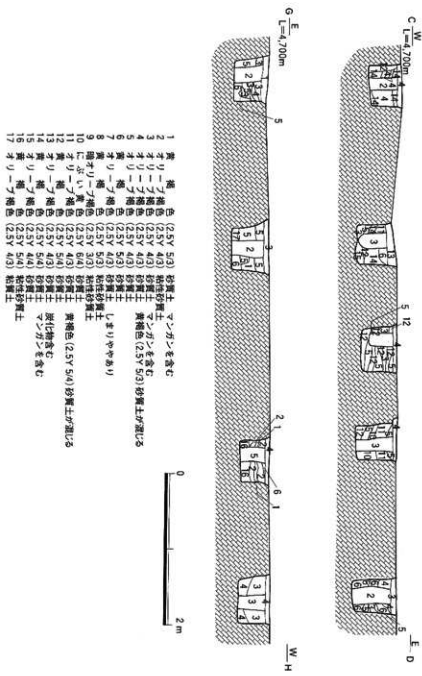
土層 3～7層に分層され、根石などは検出されていない。



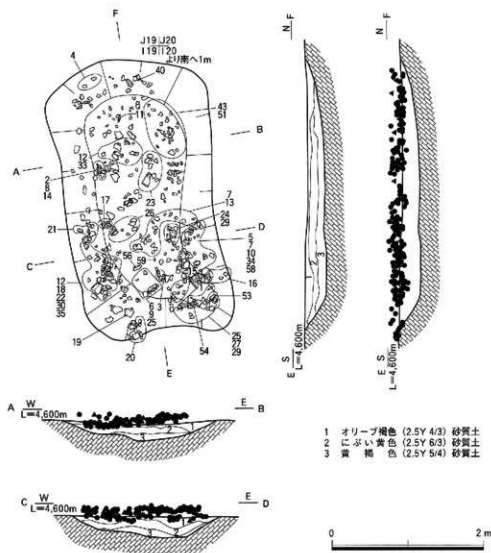
第248图 SA3040 平断面图 (1)



第250図 SA3040 出土遺物



第249図 SA3040 平断面図 (2)



第251図 SK3067 平断面図

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある建物の配置から判断して古墳時代後期と考えられる。

39号掘立柱建物跡 (SA3039) (第241・242図)

検出場所 1999年度調査2-2区 Loc.G1・γII・G19・20・H19・20グリッド

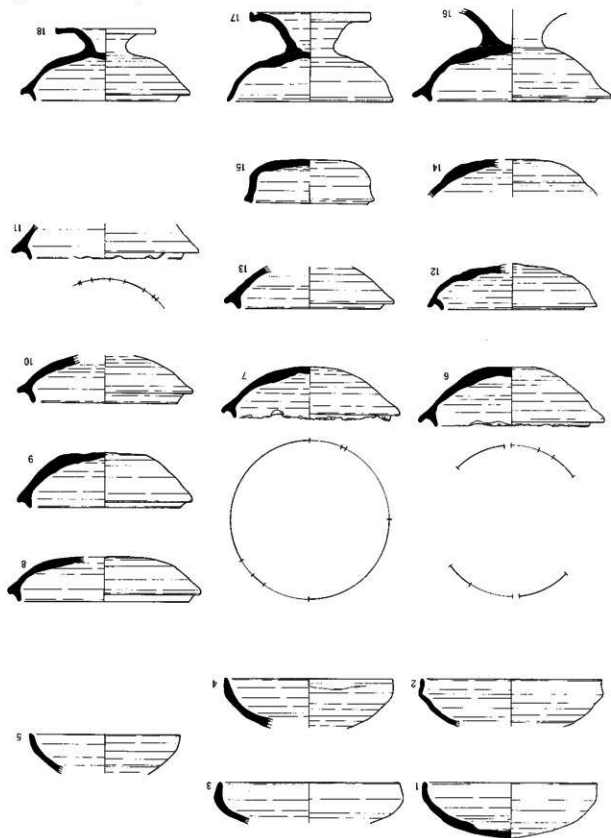
形態・規模 梁間1間(3.4m)×桁行3間以上(5.0m・残存値)、床面積約17.0m²(残存値)の掘立柱建物である。建物の主軸方向はN-0°-Wである。南側は調査区外に延びていると考えられる。

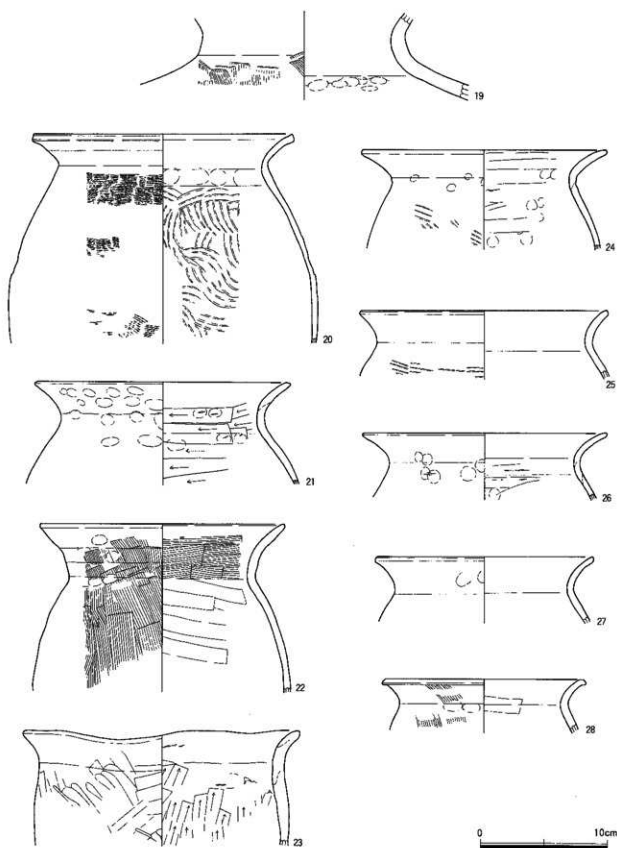
土層 3～7層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

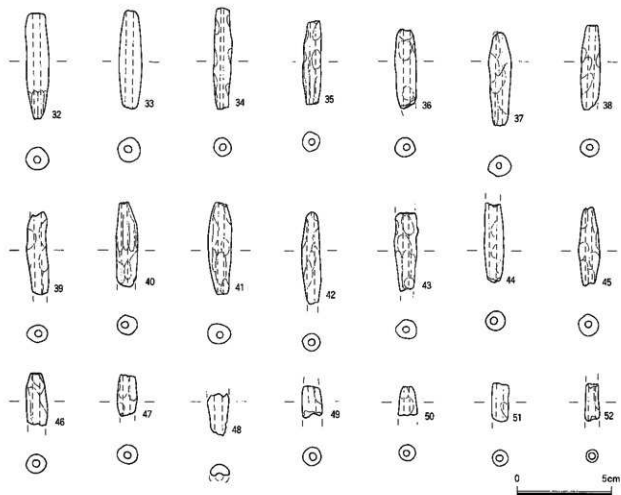
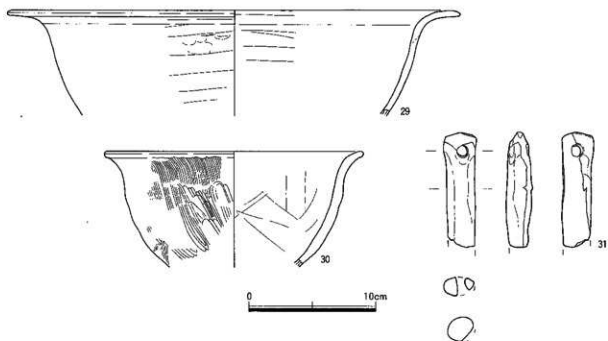
出土遺物 図示できるものは存在していない。

第252図 SK3067 出土遺物 (1)

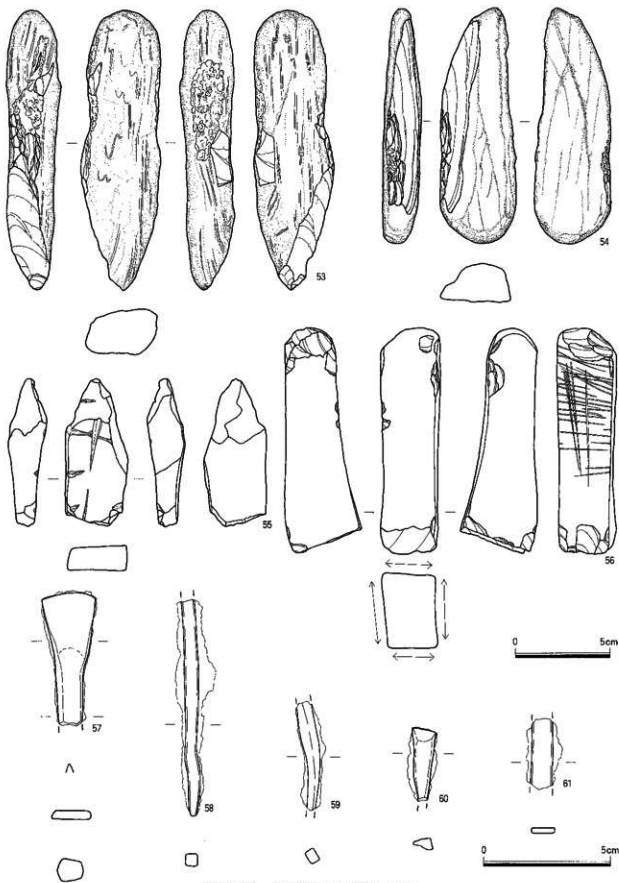




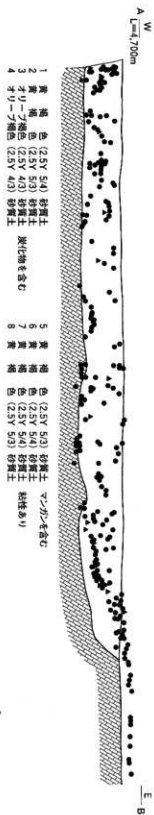
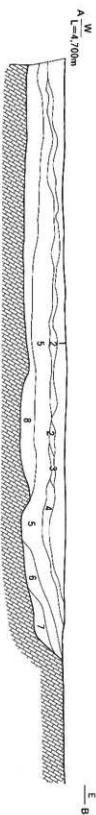
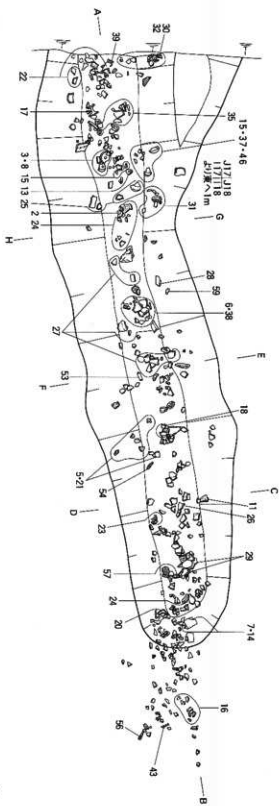
第253図 SK3067 出土遺物(2)



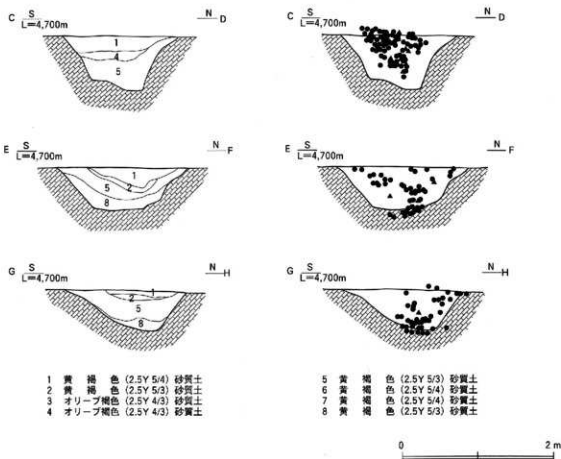
第254図 SK3067 出土遺物 (3)



第255図 SK3067 出土遺物(4)



第256図 SK3068 平断面図 (1)



第257図 SK3068 平断面図(2)

時期 附属すると考えられる遺構の時期から古墳時代後期と考えられる。

66号土坑 (SK3066) (第243～246図)

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γII・G20・H20・γIII・G1・H1グリッド

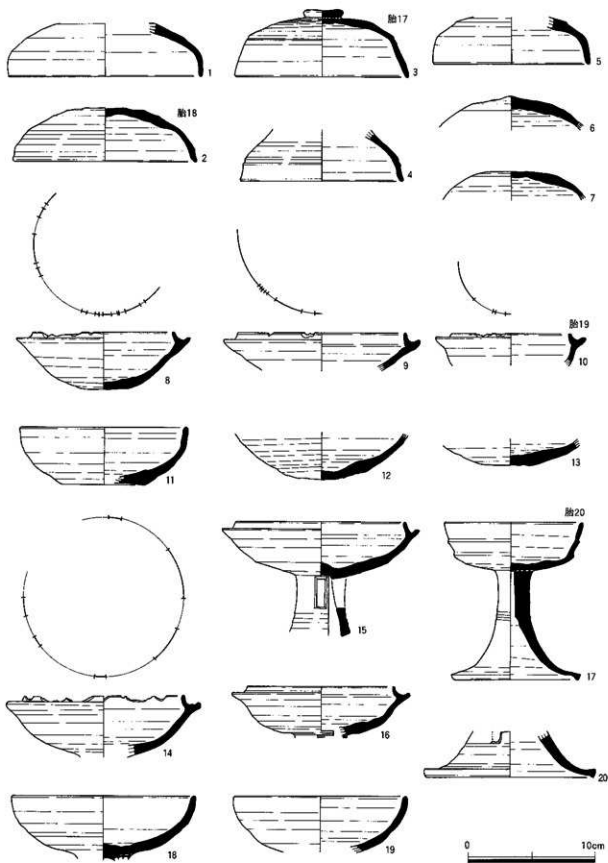
形態・規模 長軸4.90m、短軸1.60m、深度0.34mを測る。SA3039の東側に並行して存在するので、掘立柱建物に附属する遺構と判断した。

土層 3層に分層される。

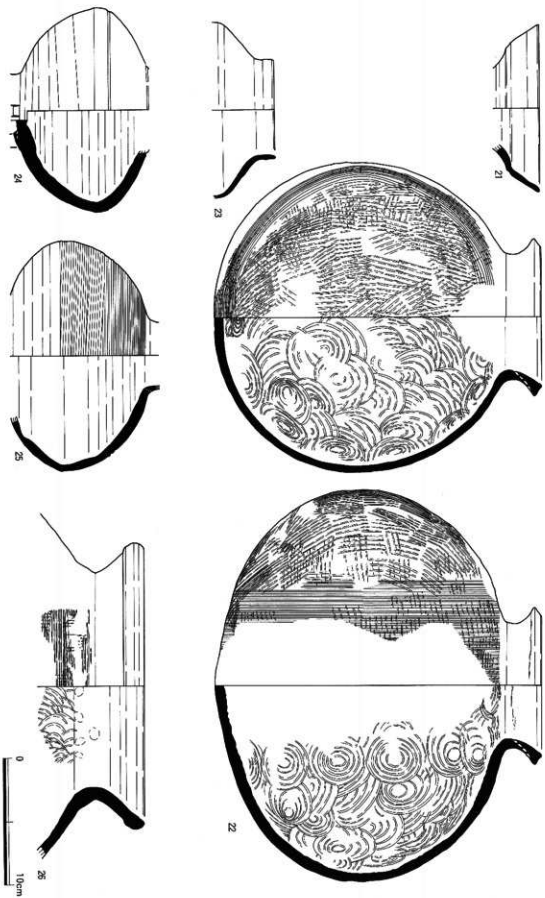
遺物出土状況 1、2層の境を中心に遺物が全体に検出された。

出土遺物 1～7は須恵器の杯蓋である。8、9は須恵器の杯身である。10は須恵器の高杯である。11は土師器の杯。12は土師器の高杯である。13～16は土師器の甕である。17～19は土師器の鉢である。20、21は土師器の瓶である。22は甕である。23～25は土錘である。26は凝灰岩の砥石である。27は砂質片岩の剥片である。28は板状をした鋳造の鉄製品である。

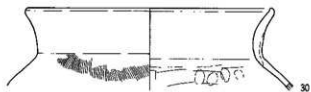
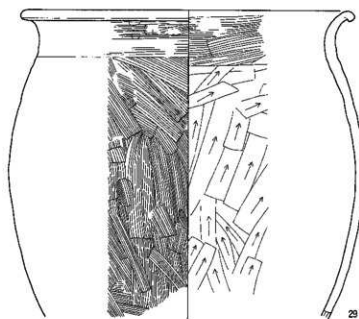
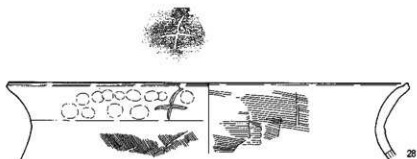
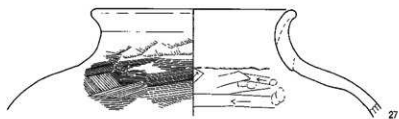
時期 出土した遺物から古墳時代後期(7世紀第2四半期・TK217併行期)と考えられる。



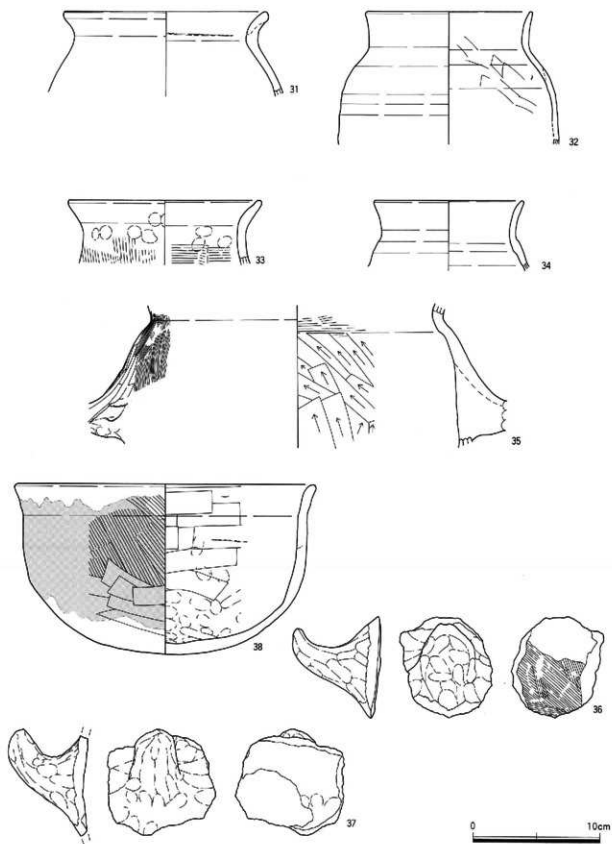
第258図 SK3068 出土遺物(1)



第259図 SK3068 出土遺物(2)

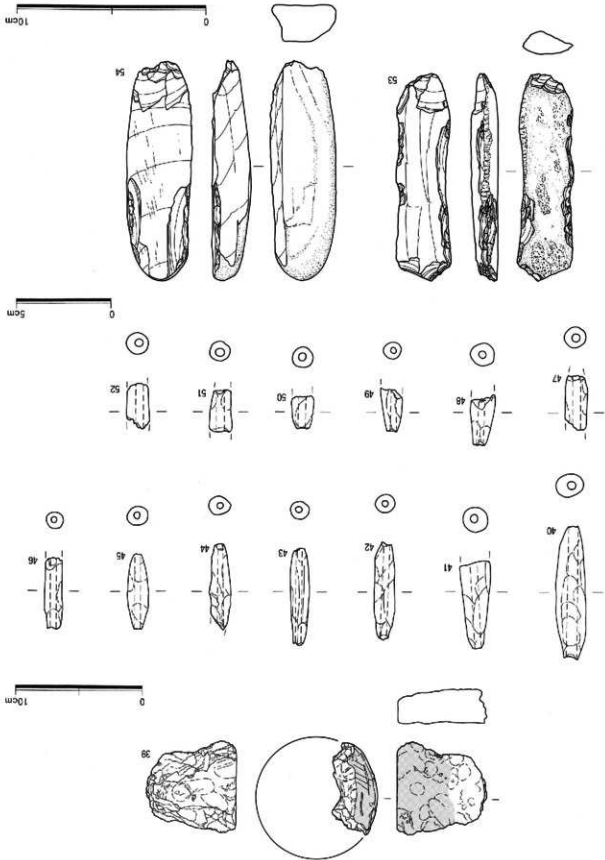


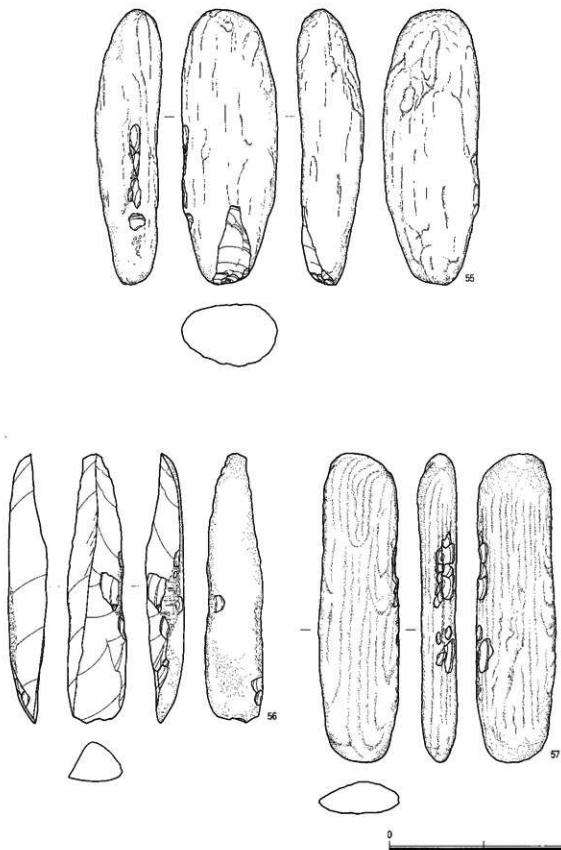
第260図 SK3068 出土遺物 (3)



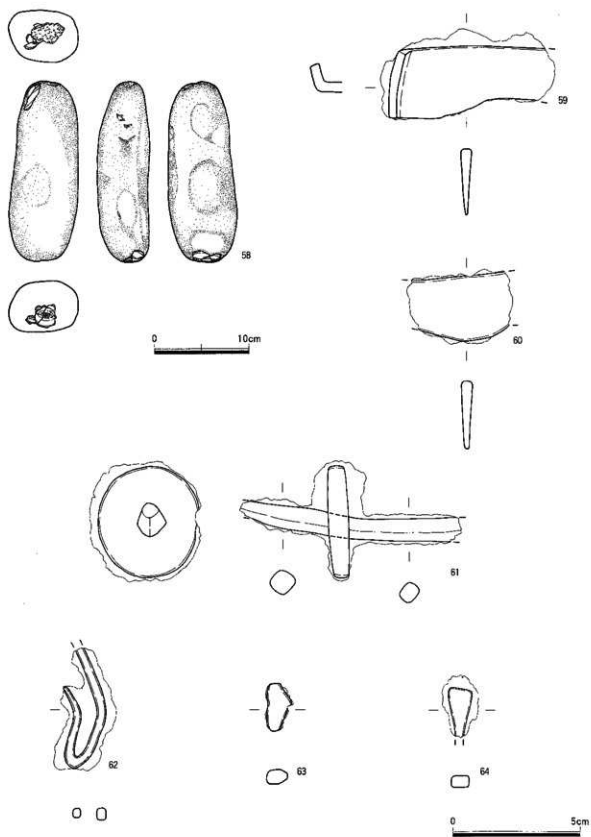
第261圖 SK3068 出土遺物(4)

第262図 SK3068 出土遺物 (5)

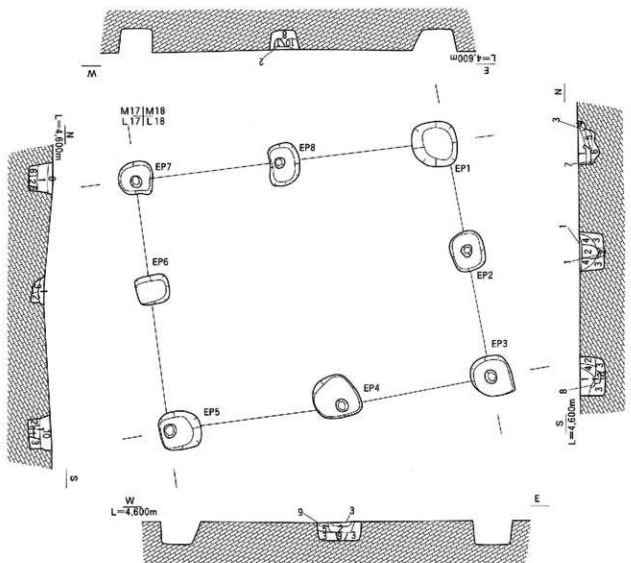




第263図 SK3068 出土遺物 (6)



第264図 SK3068 出土遺物 (7)



- | | | | | | | | |
|---|------------------|-----|------------------------|----|------------------|-----|-----------------------|
| 1 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | マンガンを含む | 8 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | しほりやや面 |
| 2 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | | 9 | 黄褐色 (2.5Y 5/4) | シルト | 黄褐色 (2.5Y 5/3)シルトが混じる |
| 3 | オリブ褐色 (2.5Y 4/4) | シルト | | 10 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 黄褐色 (2.5Y 5/4)シルトが混じる |
| 4 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 黄褐色 (2.5Y 5/3)シルトが混じる | 11 | 暗灰黄色 (2.5Y 5/2) | シルト | 黄褐色 (2.5Y 5/4)シルトが混じる |
| 5 | 黄褐色 (2.5Y 5/4) | シルト | | | | | |
| 6 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 暗灰黄色 (2.5Y 5/2)シルトが混じる | | | | |
| 7 | オリブ褐色 (2.5Y 4/4) | シルト | マンガンを含む | | | | |

第265図 SA3041 平面図

40号掘立柱建物跡 (SA3040) (第247～250図)

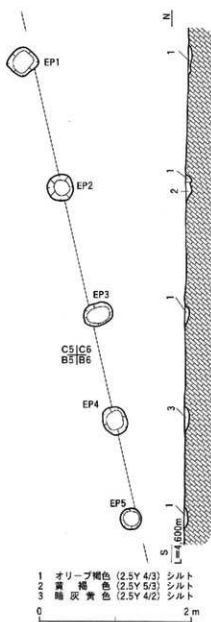
検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γⅡ・H18・19・H18・19グリッド

形態・規模 梁間3間 (5.0m) ×桁行3間 (7.2m)、床面積約36.0㎡の側柱建物である。建物の主軸方向はN-78°-Eである。

土層 4～9層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 床面より須恵器の高杯が出土している。



第266図 SA3042 平断面図

遺物が全体に検出された。

出土遺物 1～7は須恵器の杯蓋である。8～13は須恵器の杯身である。14～20は須恵器の高杯である。21は須恵器の甕、22は須恵器の横瓶である。23～25は須恵器の壺である。27は土師器の壺である。28～30、31～35は土師器の甕である。36、37は土師器の甕または甔の把手部である。38は土師器の鉢である。39は羽口である。40～52は土錘である。53、54、55～58は敲石である。石材は58が砂岩、56が泥質片岩の他は砂質片岩である。59、60は鉄鎌である。61は紡錘車である。62は棒状鉄器である。63は棒状鉄片、64は釘である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期（6世紀第4四半期・TK43併行期）と考えられる。

時期 附属すると考えられる遺構の時期から古墳時代後期と考えられる。

67号土坑 (SK3067) (第247・251～255図)

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γII・J19・20グリッド

形態・規模 長軸3.50m、短軸1.95m、深度0.28mを測る。SA3040の東側に並行して存在するので、掘立柱建物に附属する遺構と判断した。

土層 3層に分層される。

遺物出土状況 1層および遺構面出面を中心に遺物が全体に検出された。

出土遺物 1～5は須恵器の杯蓋である。6～15は須恵器の杯身である。16～18は須恵器の高杯である。19～28は土師器の甕である。29、30は土師器の鉢である。31～52は土錘である。53、54は砂質片岩の敲石である。55は泥岩、56は砂岩の砥石である。57はノミ状工具である。58～60は釘。61は棒状の鉄器である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期（7世紀第2四半期・TK217併行期）と考えられる。

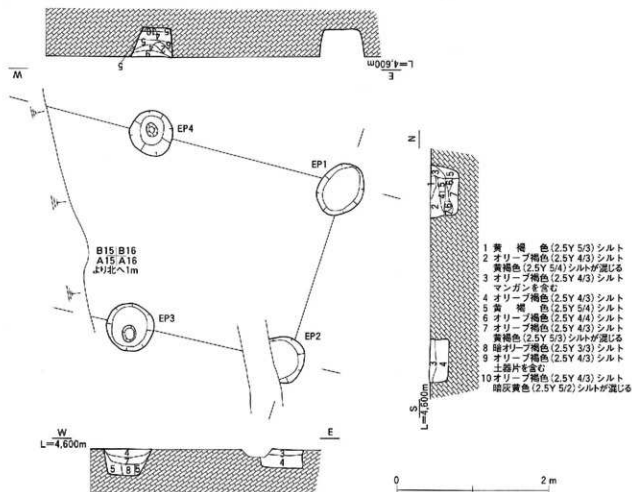
68号土坑 (SK3068) (第247・256～264 図)

検出場所 1998年度調査9区 Loc.G1・γII・J17・18・19・J17・18・19グリッド

形態・規模 長軸7.80m、短軸1.95m、深度0.71mを測る。西側は調査区外に延びている。SA3040の北側に並行して存在するので、掘立柱建物に附属する遺構と判断した。

土層 8層に分層される。

遺物出土状況 遺構検出面から最下層（8層）にいたるまで



第267図 SA3043 平面図

41号掘立柱建物跡 (SA3041) (第265図)

検出場所 2003年度調査4-2区 Loc.G1・γⅡ・L17・18グリッド

形態・規模 梁間2間(3.4m)×桁行2間(4.3m)、床面積約14.6m²の側柱建物である。建物の主軸方向はN-78°-Eである。

土層 3～6層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

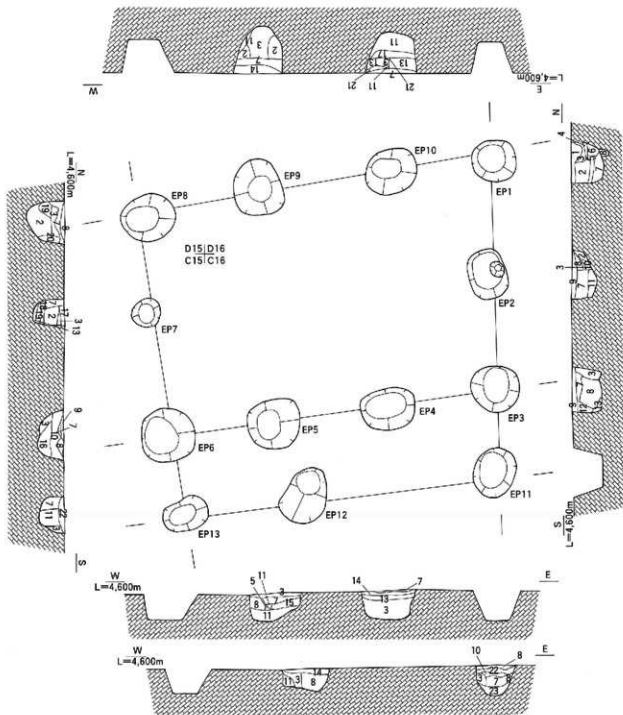
時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

42号掘立柱建物跡 (SA3042) (第266図)

検出場所 2003年度調査4-1区 Loc.G1・γⅢ・B6・C5・6グリッド

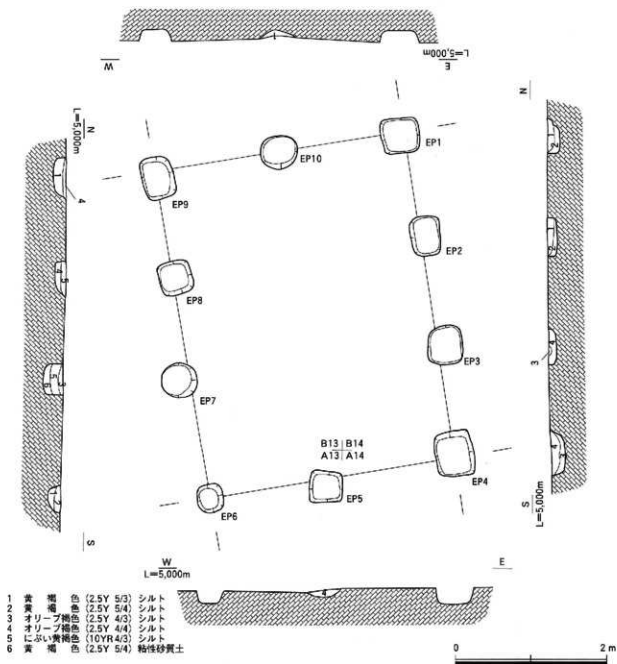
形態・規模 小穴5基で構成される棚列である。主軸方向はN-12°-Wである。東側は調査区外のため、掘立柱建物である可能性も残す。

土層 1～2層に分層され、根石などは検出されていない。



- | | | | | | | | |
|----|------------------|-----|------------------------|----|------------------|-----|----------------------------|
| 1 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 炭化物を含む | 13 | 黄褐色 (2.5Y 5/4) | シルト | |
| 2 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルトが混じる | 14 | 黄褐色 (2.5Y 5/3) | シルト | |
| 3 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | | 15 | 暗灰黄色 (2.5Y 4/2) | シルト | 黄褐色 (2.5Y5/3) シルトが混じる |
| 4 | 暗灰黄色 (2.5Y 4/2) | シルト | | 16 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 黄褐色 (2.5Y5/4) シルト, マンガンを含む |
| 5 | 暗灰黄色 (2.5Y 4/2) | シルト | 暗灰黄色 (2.5Y5/2) シルトが混じる | 17 | 黄褐色 (2.5Y 5/4) | シルト | 黄褐色 (2.5Y5/3) シルトが混じる |
| 6 | 暗灰黄色 (2.5Y 4/2) | シルト | マンガンを含む | 18 | 黄褐色 (2.5Y 5/4) | シルト | しじりややね |
| 7 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 黄褐色 (2.5Y5/3) シルトが混じる | 19 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | しじりややね |
| 8 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | マンガンと鉄分を含む | 20 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | に強い黄色 (2.5Y6/4) シルトが混じる |
| 9 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 黄褐色 (2.5Y5/4) シルトが混じる | 21 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 土層片を含む |
| 10 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | | 22 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 鉄分を含む |
| 11 | オリブ褐色 (2.5Y 4/4) | シルト | マンガンを少量含む | 23 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | シルト | 灰黄色 (2.5Y6/2) シルトが混じる |

第268図 SA3044 平面図



第269図 SA3045 平面図

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

43号掘立柱建物跡 (SA3043) (第267図)

検出場所 2003年度調査4-2区 Loc.G1・δII・A15・16・B15・16グリッド

形態・規模 梁間1間 (2.5m) × 桁行1間 (2.5m)、床面積約6.25㎡ (残存値) の掘立柱建物である。

建物の主軸方向はN-77°-Wである。西側は調査区外に延びている。

土層 2～7層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

44号掘立柱建物跡 (SA3044) (第268図)

検出場所 2003年度調査4-2区 Loc.G1・γII・C15・16・D15・16グリッド

形態・規模 梁間2間(2.8m)×桁行3間(4.8m)、床面積約13.4㎡の側柱建物である。南側に庇部をもつ。建物の主軸方向はN-80°-Eである。

土層 4～8層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

45号掘立柱建物跡 (SA3045) (第269図)

検出場所 2003年度調査4-3区 Loc.G1・εII・A13・14・B13・14グリッド

形態・規模 梁間2間(3.3m)×桁行3間(4.3m)、床面積約14.2㎡の側柱建物である。建物の主軸方向はN-10°-Wである。

土層 1～3層に分層され、根石などは検出されていない。

遺物出土状況 出土状況を図化できたものはない。

出土遺物 図示できるものは存在していない。

時期 同一遺構面にある遺構の時期から判断して古墳時代以降と考えられる。

③ 竪穴住居

1号竪穴住居跡 (SB3001) (第270～275図)

検出場所 1999年度調査2-1区 Loc.G1・αIII・K8・9・L8・9グリッド

形態・規模 平面形態は長方形を呈し、北側は調査区外に延びている。長軸5.20m(残存部)、短軸4.70m、表面積は約24.4㎡を測る。残存する深度は0.25mである。

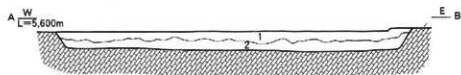
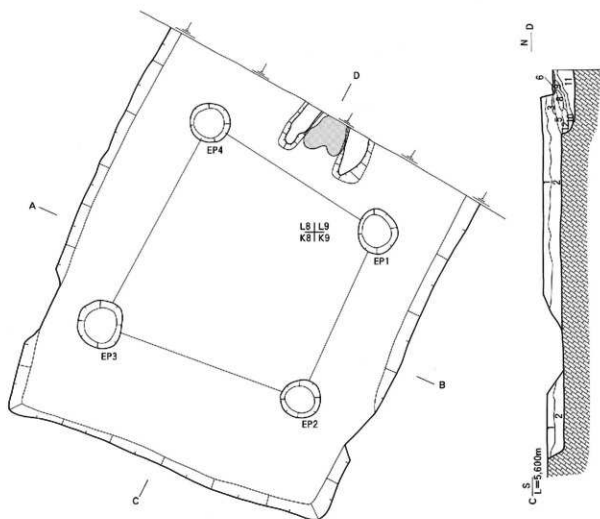
土層 18層に分層される。

柱穴 柱穴は4基検出されている。

竈 北壁のほぼ中央付近に1基検出された。支脚は不明である。袖部と燃焼部が検出されており、煙道部分は調査区側溝に削られている。下部構造には円形の土坑が掘削されており、長軸1.2m、短軸0.85m、深さ0.15mを測る。

遺物出土状況 竈内およびその右袖脇、住居内の北東部を中心に遺物が出土している。層位は床面からのものと検出面上面とに分かれる傾向がみられるが、一部に接合関係がみられる。

出土遺物 1は須恵器の杯壺である。2は土師器の高杯である。3は土師器の杯である。4、5は土師器の鉢である。6、7は土師器の壺である。8は土師器の甔である。



- 1 黄褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土
2 オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) 砂質土

NW
L=5,600m

SE

NW
L=5,600m

SE

NW
L=5,600m

SE

NW
L=5,600m

SE



EP1



EP2



EP3

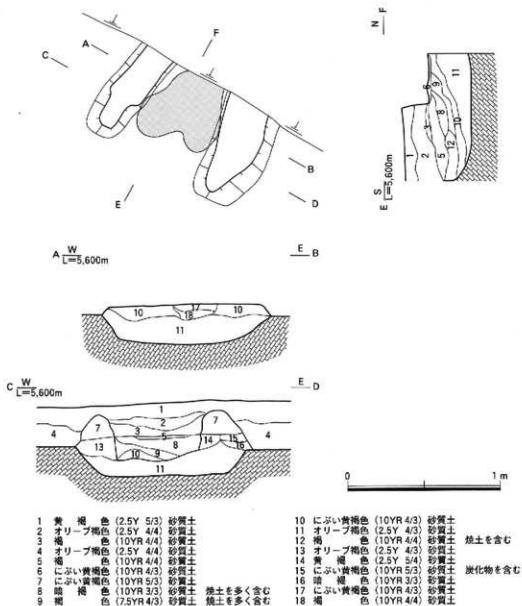


EP4

- 1 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 砂質土
2 灰黄褐色 (10YR 4/2) 砂質土
3 黄褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土
4 にぶい黄褐色 (10YR 5/4) 砂質土
5 褐色 (10YR 4/4) 粘質土

0 2m

第270図 SB3001 平面図



第271図 SB3001-EH1 平面図

時期 出土した遺物から古墳時代後期初頭（6世紀第1四半期・TK-47並行期）と考えられる。

2号竪穴住居跡 (SB3002) (第276~278図)

検出場所 1999年度調査2-1区 Loc.G1・αⅢ・K7・L7・8グリッド

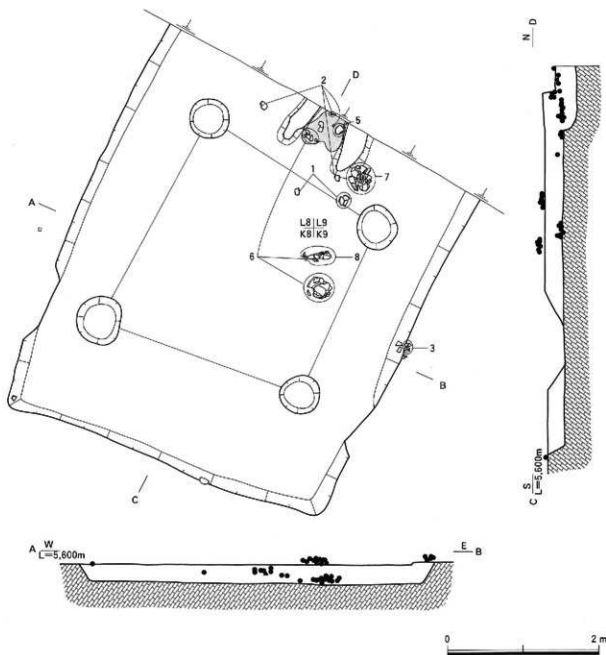
形態・規模 平面形態はほぼ方形を呈し、長軸4.28m、短軸4.35m、表面積は約18.6㎡を測る。残存する深度は0.20mである。

土層 2層に分層される。

柱穴 柱穴は検出されていない。

竈 検出されていない。

遺物出土状況 遺構全体に石、土器類が散漫に分布している。



第272図 SB3001 遺物出土状況図

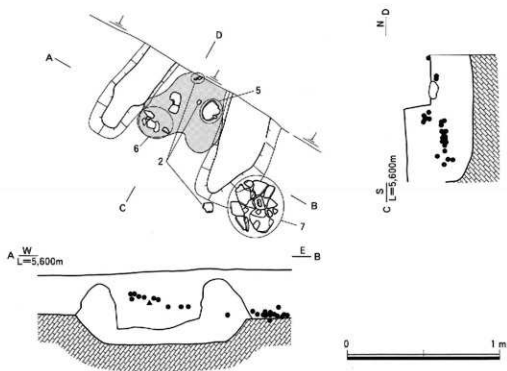
出土遺物 1は須恵器の甕である。

時期 出土した遺物から古墳時代後期以降と考えられる。

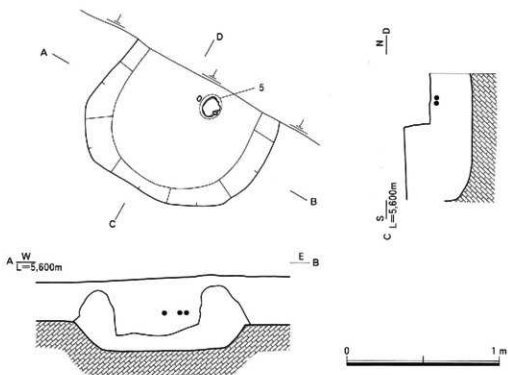
3号竪穴住居跡 (SB3003) (第279~285図)

検出場所 1999年度調査3区 Loc.G1・αⅢ・M20・N20・αⅣM1・N1グリッド

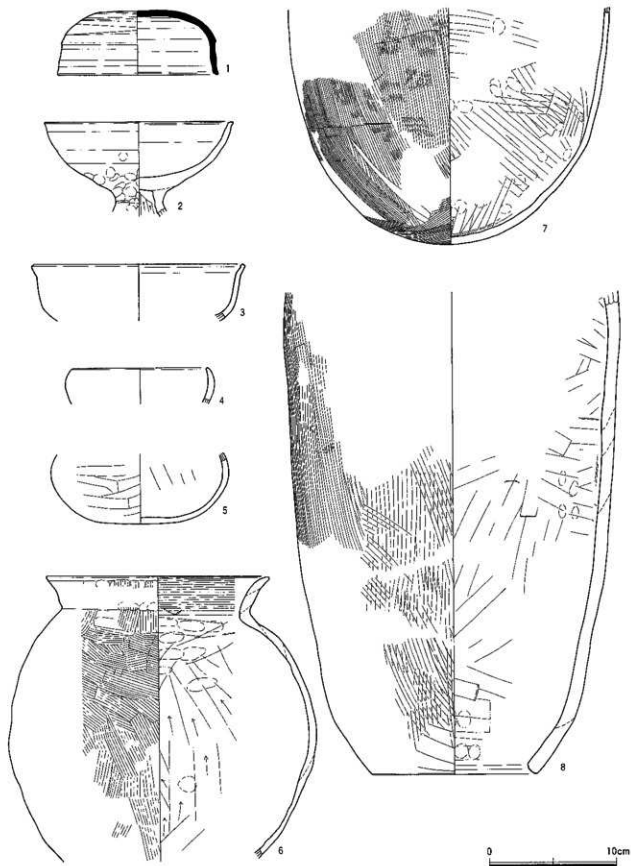
形態・規模 平面形態は長方形を呈し、長軸6.90m、短軸5.60m、表面積は約38.6m²を測る。残存する深度は0.15mである。



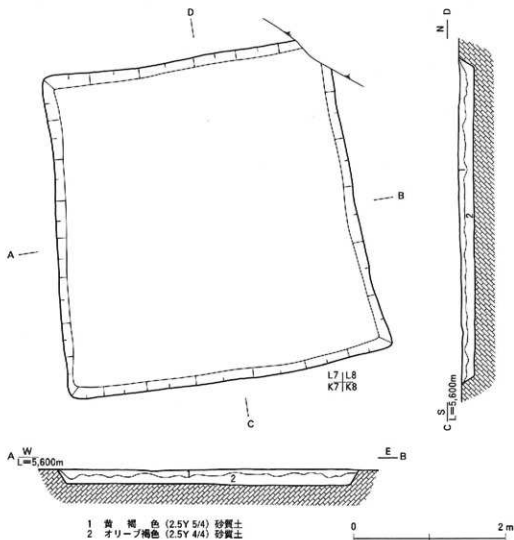
第273図 SB3001・EH1 遺物出土状況図



第274図 SB3001 下部構造遺物出土状況図



第275図 SB3001 出土遺物



第276図 SB3002 平面図

土層 19層に分層される。

柱穴 柱穴は4基検出されている。

竈 北壁のほぼ中央付近に1基検出された。石製の支脚を持つ。袖部と燃焼部および煙道部が検出されている。焚き口部分の南側床面に焼土、炭化物の拡がりが見とめられた。下部構造には隅丸長方形の土坑が掘削されており、長軸1.2m、短軸1.15m、深さ0.18mを測る。

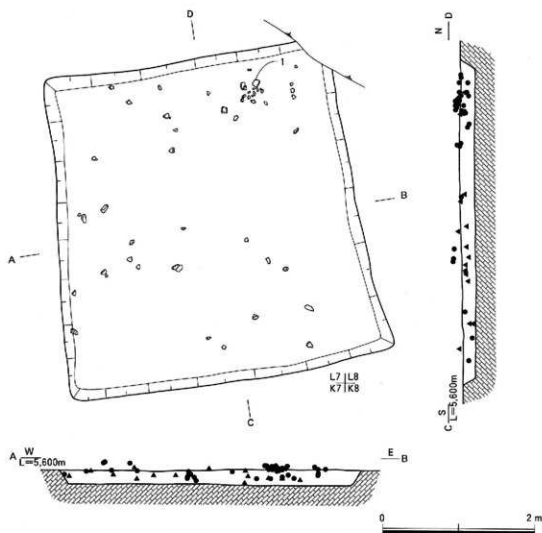
遺物出土状況 竈の周辺部や北東隅、また南壁付近より遺物が集中して検出されている。

出土遺物 1は須恵器の杯蓋である。2は須恵器の杯身である。3は須恵器の高杯である。4は須恵器の器台である。5～7は土師器の杯である。8は土師器の鉢である。9～13は土師器の甕である。14は鉢である。15、16は釘である。

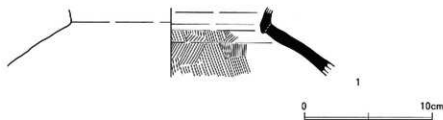
時期 出土した遺物から古墳時代後期初頭（6世紀第1四半期・TK-47並行期）と考えられる。

4号竪穴住居跡 (SB3004) (第286～292図)

検出場所 1999年度調査3区 Loc.G1・αⅢ・P17・Q17グリッド



第277図 SB3002 遺物出土状況図



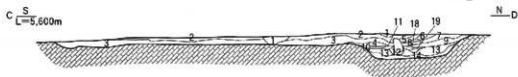
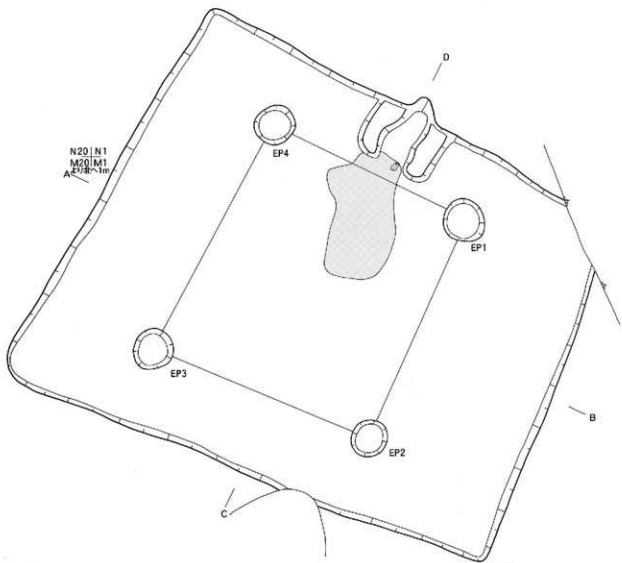
第278図 SB3002 出土遺物

形態・規模 平面形態は東側が後世の溝に切られ、西側は調査区外に延びているため不明である。残存する深度は0.13mを測る。

土層 13層に分層される。

柱穴 柱数は4本柱とみられるが、検出できたのは3ヶ所であった。

竈 東壁のやや南寄りに1基検出された。石製の支脚を持つ。袖部と燃焼部が検出されている。下部構造には楕円形の土坑が掘削されており、長軸1.08m、短軸0.8m（残存値）、深度0.18mを測る。



- 1 オリーブ黄色 (5Y 6/3) 砂質土 3 黄褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土
 2 黄褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土 4 オリーブ褐色 (2.5Y 4/3) 砂質土 炭化物・焼土を多く含む

W
L=5,600m

E

W
L=5,600m

E

W
L=5,600m

E

W
L=5,600m

E



EP1



EP2



EP3

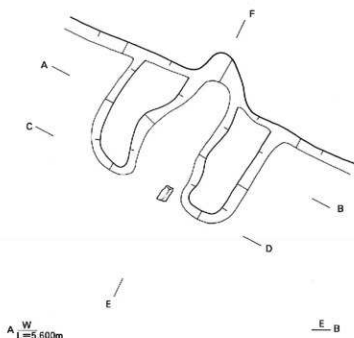


EP4

- 1 黄褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土
 2 黄褐色 (2.5Y 5/3) 砂質土
 3 黄褐色 (2.5Y 5/4) 砂質土

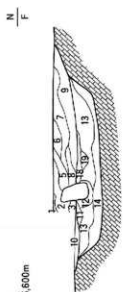
第279図 SB3003 平断面図



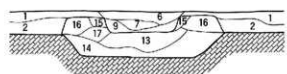


A W
L=5,600m

E B

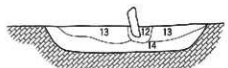


S
L=5,600m



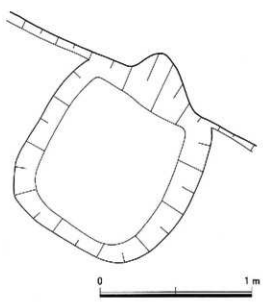
C W
L=5,600m

E D

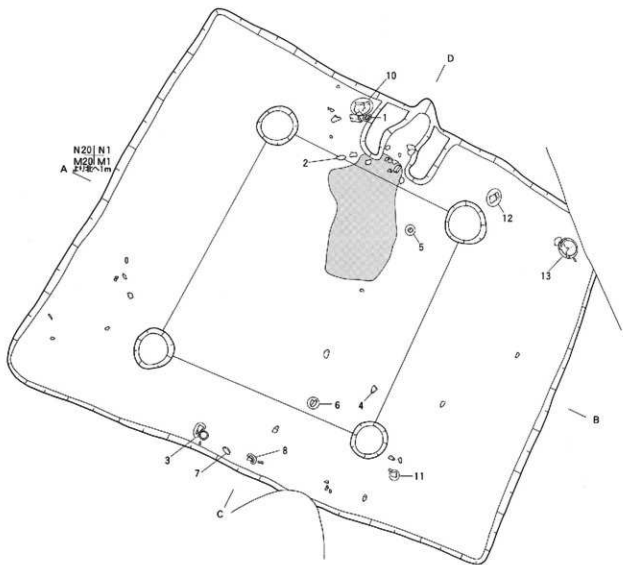


- | | | | | |
|----|--------|-------------|----------|-------------|
| 1 | オリーブ褐色 | (5Y 6/3) | 砂質土 | |
| 2 | 黄褐色 | (2.5Y 5/4) | 砂質土 | |
| 3 | 黄褐色 | (2.5Y 5/3) | 砂質土 | |
| 5 | にぶい黄褐色 | (10YR 4/3) | 砂質土 | 炭化物・焼土を多く含む |
| 6 | オリーブ褐色 | (2.5Y 4/3) | 砂質土 | |
| 7 | にぶい褐色 | (7.5YR 5/4) | 砂質土 | |
| 8 | 褐色 | (7.5YR 4/3) | 粘性砂質土 | 炭化物・焼土を多く含む |
| 9 | オリーブ褐色 | (2.5Y 4/6) | 砂質土 | |
| 10 | 暗赤褐色 | (5YR 3/3) | 砂質土 (灰) | |
| 11 | にぶい黄褐色 | (5YR 4/4) | 砂質土 (焼土) | |
| 12 | 黄褐色 | (2.5Y 5/4) | 礫砂 | |
| 13 | 黄褐色 | (2.5Y 5/3) | 砂質土 | |
| 14 | 黄褐色 | (2.5Y 5/4) | 砂質土 | |
| 15 | オリーブ褐色 | (2.5Y 4/4) | 砂質土 | |
| 16 | 黄褐色 | (2.5Y 5/4) | 砂質土 | |
| 17 | オリーブ褐色 | (2.5Y 4/6) | 砂質土 | |
| 18 | にぶい黄褐色 | (2.5Y 6/4) | 砂質土 | |
| 19 | 暗灰黄色 | (2.5Y 4/2) | 粘性砂質土 | 炭化物・焼土を多く含む |

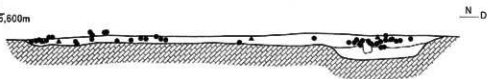
第280図 SB3003・EH1 平断面図



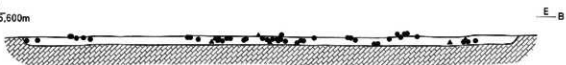
第281図 SB3003・EH1 下部構造図



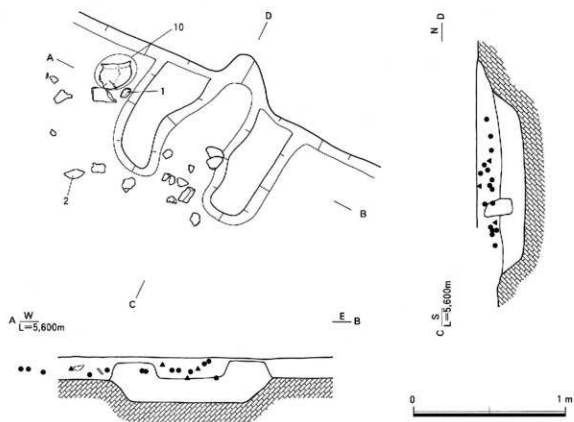
C S
L=5,600m



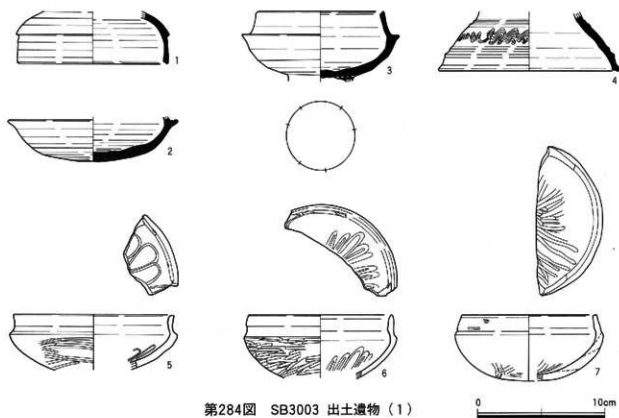
A W
L=5,600m



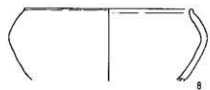
第282図 SB3003 遺物出土状況図



第283図 SB3003-EH1 遺物出土状況図



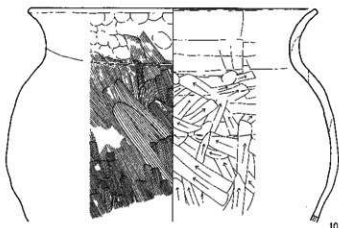
第284図 SB3003 出土遺物 (1)



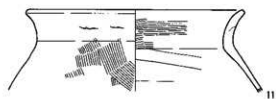
8



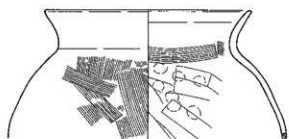
9



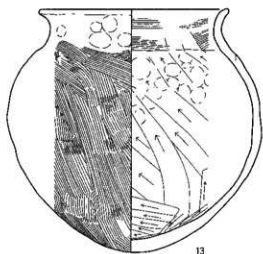
10



11



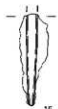
12



13



14



15



16

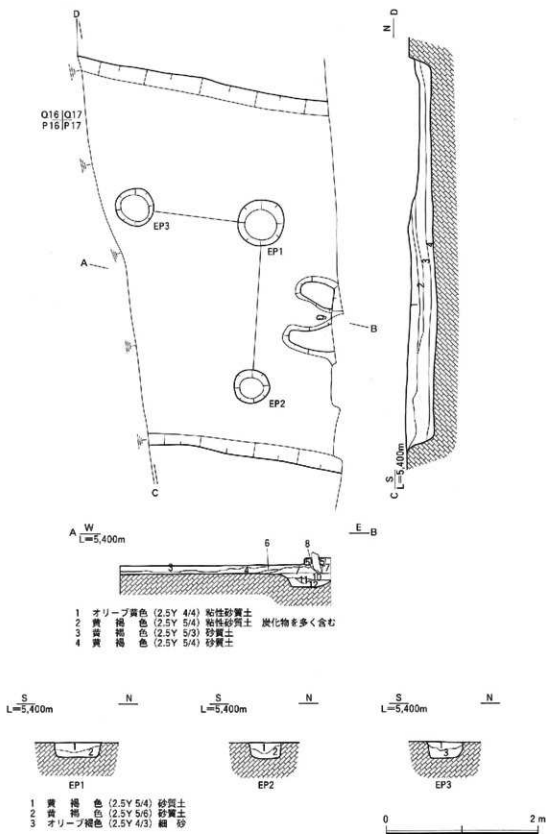


10cm

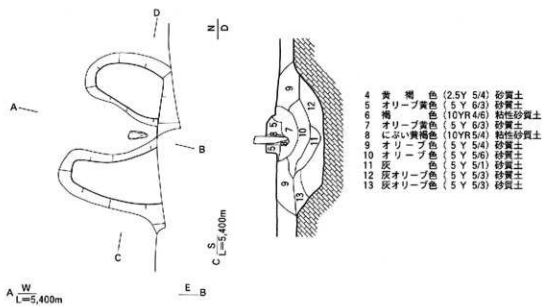


5cm

第285図 SB3003 出土遺物(2)



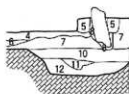
第286図 SB3004 平面図



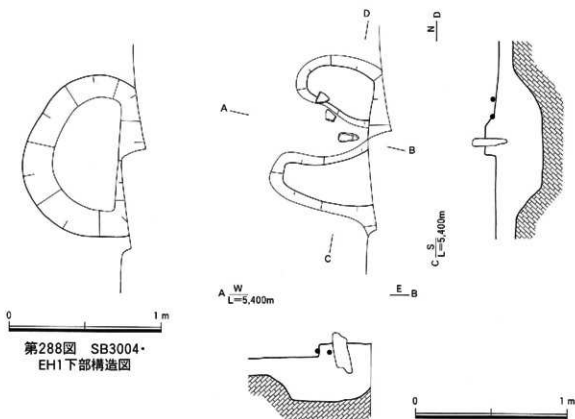
A W
L=5,400m

E B

C S
L=5,400m



第287図 SB3004・EH1 平面図



第288図 SB3004・EH1 下部構造図

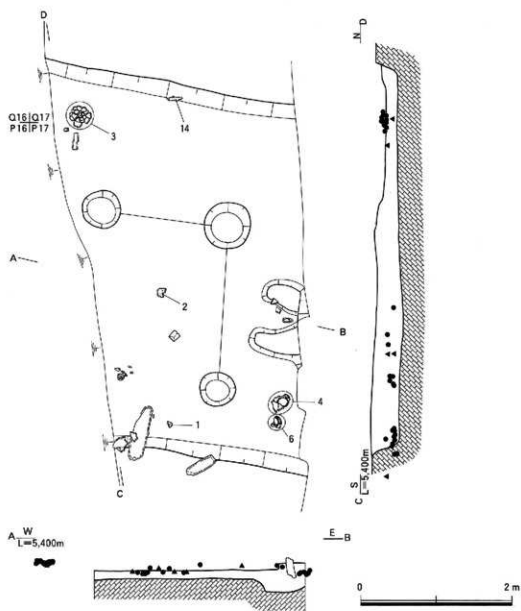
A W
L=5,400m

E B

C S
L=5,400m



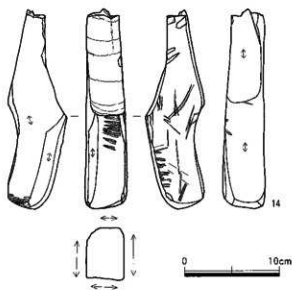
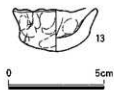
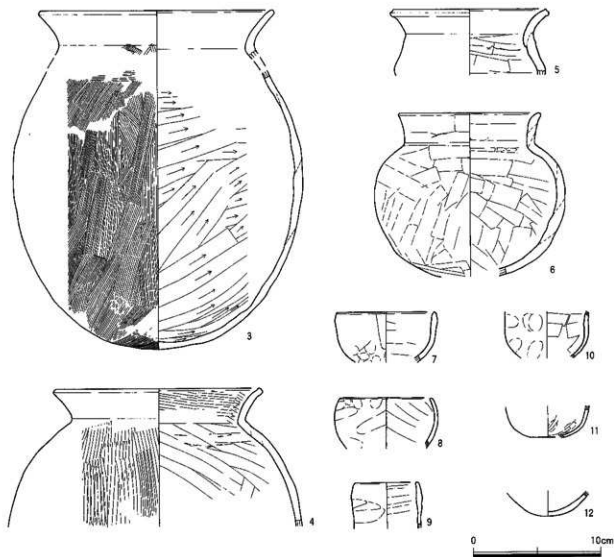
第289図 SB3004・EH1 遺物出土状況図



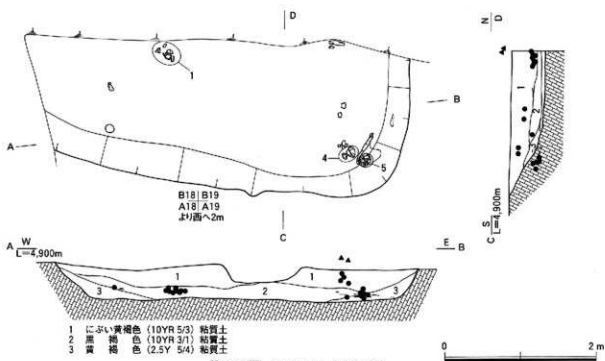
第290図 SB3004 遺物出土状況図



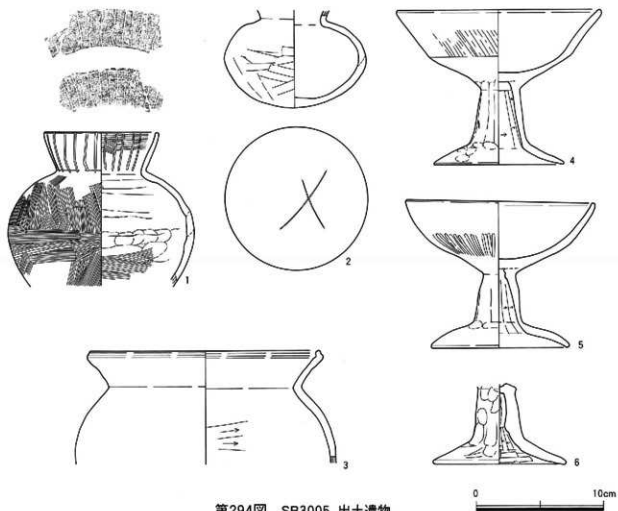
第291図 SB3004 出土遺物(1)



第292図 SB3004 出土遺物 (2)

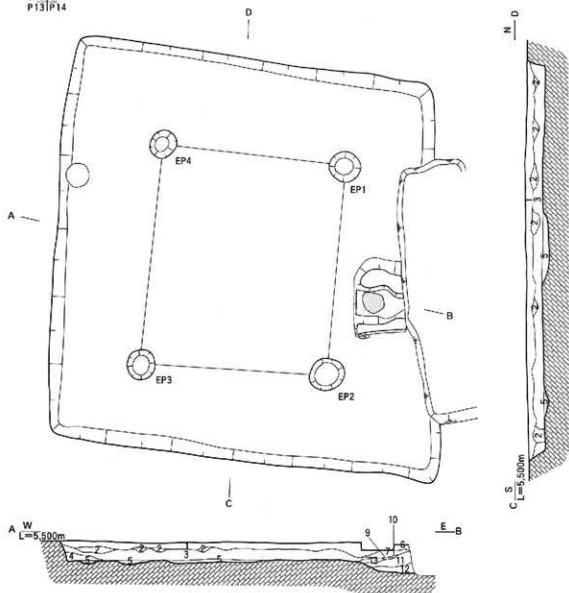


第293図 SB3005 平断面図



第294図 SB3005 出土遺物

Q13/Q14
P13/P14



- 1 オリーブ褐色 (2.5Y 4/4) 砂質土
- 2 にぶい黄褐色 (10YR 5/4) 砂質土
- 3 にぶい黄褐色 (10YR 5/4) 砂質土
- 4 褐色 (10YR 4/4) 砂質土
- 5 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 砂質土

W L=5,500m E W L=5,500m E W L=5,500m E W L=5,500m E



EP1



EP2



EP3

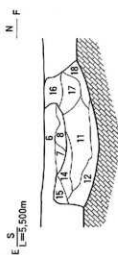
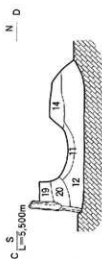
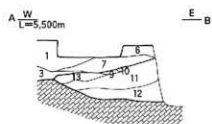
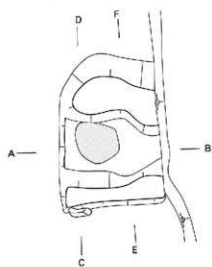


EP4

- 1 褐色 (10YR 4/4) 砂質土
- 2 にぶい黄褐色 (10YR 4/3) 細砂

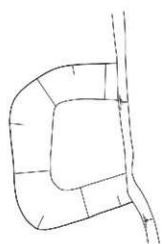
第295図 SB3006 平面図



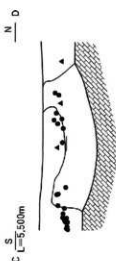
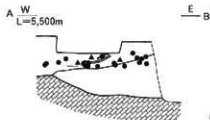
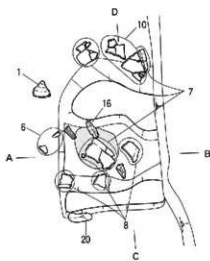


- | | | | |
|----|-------------------|-----|--------------|
| 1 | オリブ褐色 (2.5Y 4/4) | 砂質土 | |
| 3 | にぶい黄褐色 (10YR 5/4) | 砂質土 | |
| 6 | にぶい黄褐色 (10YR 4/3) | 砂質土 | |
| 7 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | 砂質土 | 焼土多く含む |
| 8 | 褐色 (10YR 4/4) | 砂質土 | 焼土多く含む・炭化物含む |
| 9 | 褐色 (7.5YR 4/4) | 砂質土 | 焼土多く含む |
| 10 | 褐色 (7.5YR 4/3) | 砂質土 | |
| 11 | オリブ褐色 (2.5Y 4/3) | 砂質土 | |
| 12 | オリブ褐色 (2.5Y 4/4) | 砂質土 | |
| 13 | にぶい黄褐色 (10YR 4/5) | 砂質土 | |
| 14 | 黄褐色 (10YR 4/4) | 砂質土 | |
| 15 | オリブ褐色 (2.5Y 4/4) | 砂質土 | 焼土含む |
| 16 | 黄褐色 (2.5Y 5/4) | 砂質土 | |
| 17 | 黄褐色 (2.5Y 5/3) | 砂質土 | |
| 18 | 褐色 (10YR 4/4) | 砂質土 | |
| 19 | オリブ黄 (8 Y 6/3) | シルト | |
| 20 | 黄褐色 (2.5Y 5/4) | 砂質土 | |

第296図 SB3006-EH1 平断面図

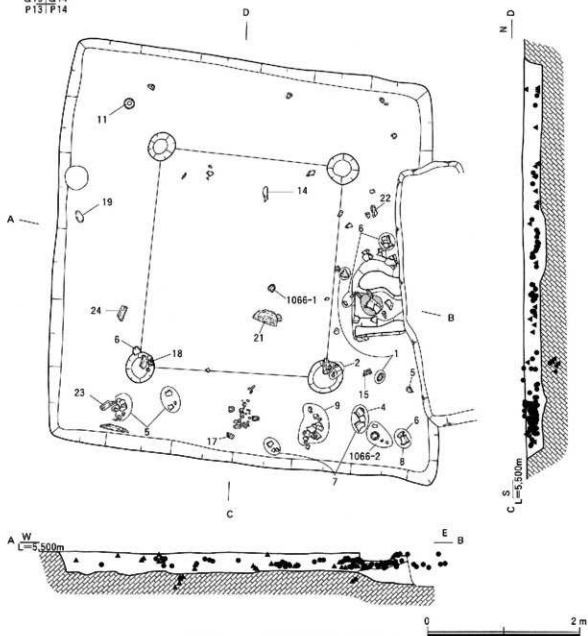


第297図 SB3006-EH1
下部構造図

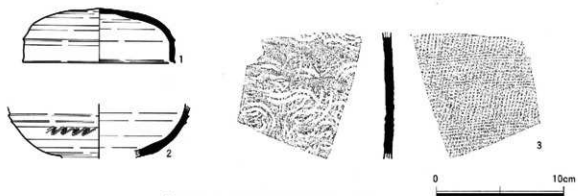


第298図 SB3006-EH1 遺物出土状況図

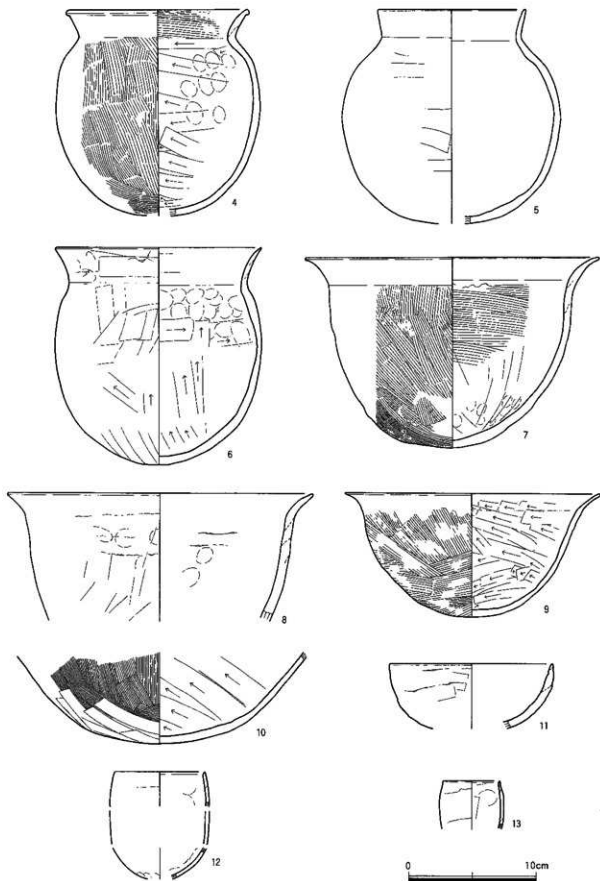
Q13/Q14
P13/P14



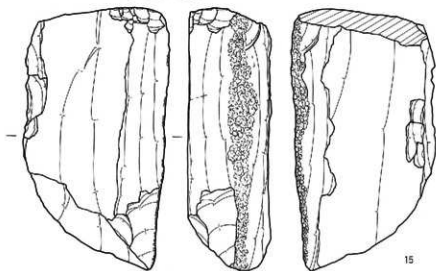
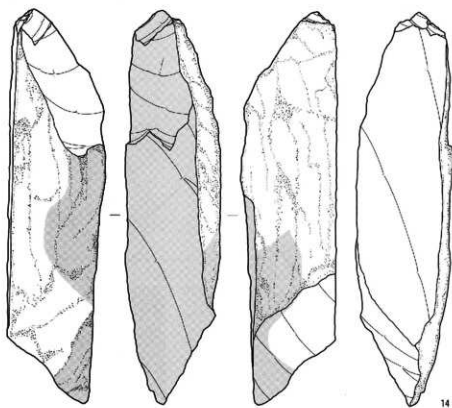
第299図 SB3006 遺物出土状況図



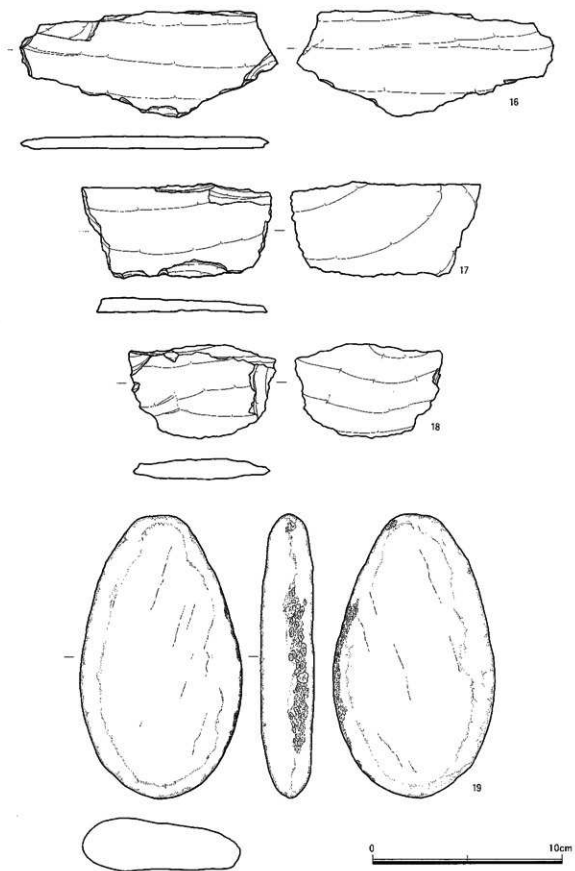
第300図 SB3006 出土遺物(1)



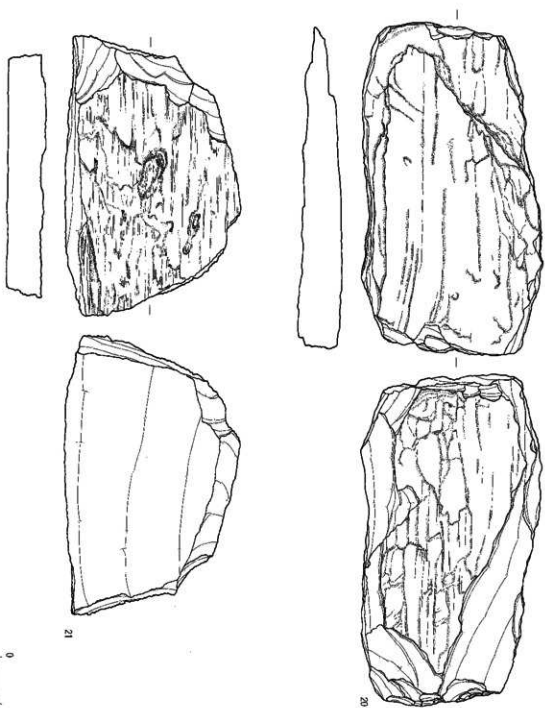
第301圖 SB3006 出土遺物(2)



第302図 SB3006 出土遺物 (3)



第303図 SB3006 出土遺物(4)



第304図 SB3006 出土遺物 (5)